

ACTION COMICS

Chinatsu Tomisawa

とみさわ千夏

Porno graffiti

1



ポ
ル
ノ
グ
ラ
フ
ィ
テ

ACTION COMICS

ポルノ

グラフィティ

Porno graffiti ①

とみさわ千夏

Chinatsu Tomisawa

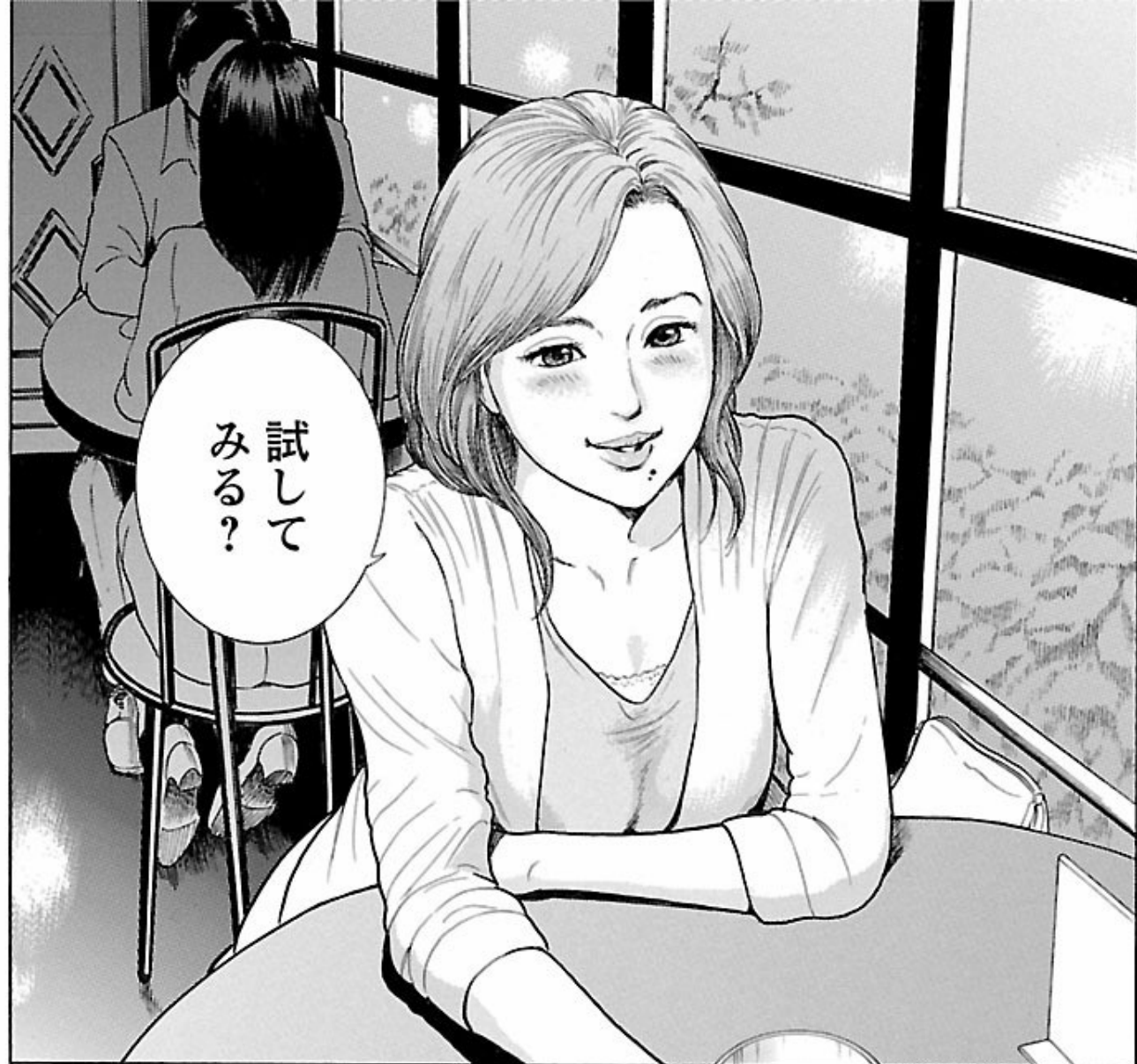
Contents

第1話	サマーフラッシュ	7
第2話	健児の嫁	37
第3話	さくらんぼ芸者	67
第4話	未亡人下宿「手記」より	97
第5話	ソファアの海(前編)	127
第6話	ソファアの海(後編)	151
第7話	ビューティフルサンデー	177

第1話 サマーフラッシュ



ポルノ・グラフィティ
Porno graffiti



この女性と再会したのは
4時間前
大型ショッピングモールの中……

4時間前…

え？

はい…？

何度か目が合う
一人の女性がいた
「あれどこかで…？」
「誰だっけ？」「……」
「もしや！」
思い出したのは
海のポスターを背にした
時だった

オキナワ
の……

ナ…

えと…

あ

彼女も目が合い
「あれ？」という
気持ちにはあったが…
思い出せないのか…

妻の名前と
当時の職場を
口にした時

あー
あー
ヒロミさんの
……

あ
あー海行った…

やはり…
だった

二十数年前

わ

うえ~~~~?
軽?
カッチョ悪う…

だつて~~~~
クーラー付きに
してつてノブちゃん
言つたじゃん今日
残つてたのこれだけ
なんだつて…

一週間泊まりがけの
仕事から眠い目こすり
待ち合わせ場所へ直行



付き合っていた
ヒロミ

お気を
つけてー

お
おー

予約を頼んでいた
レンタカーで海へ
ヒロミと…

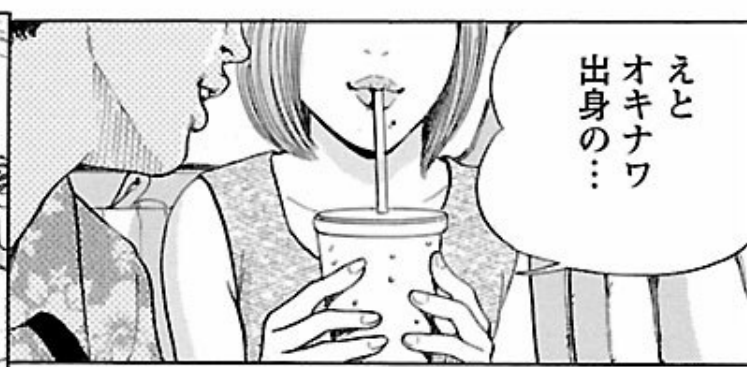
この後私の
妻になる

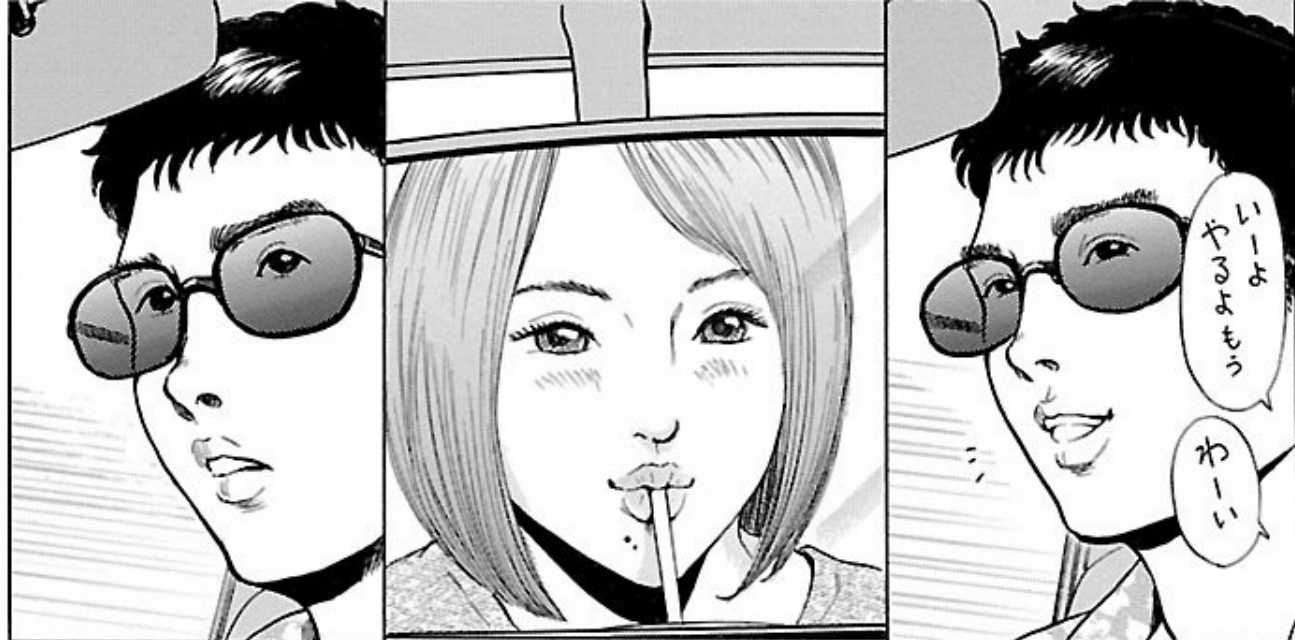
うわ

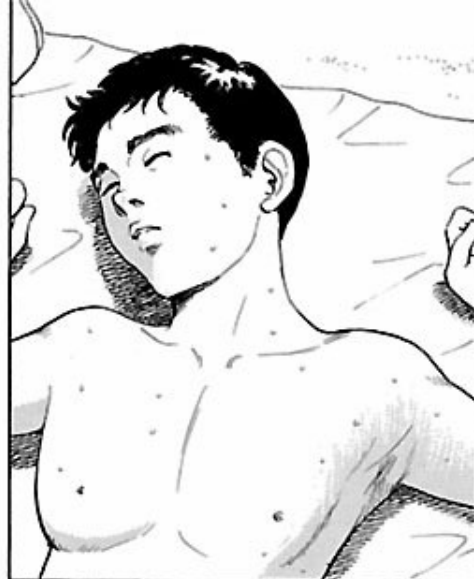
あ
いた

駅の
ロータリー
ロータリー



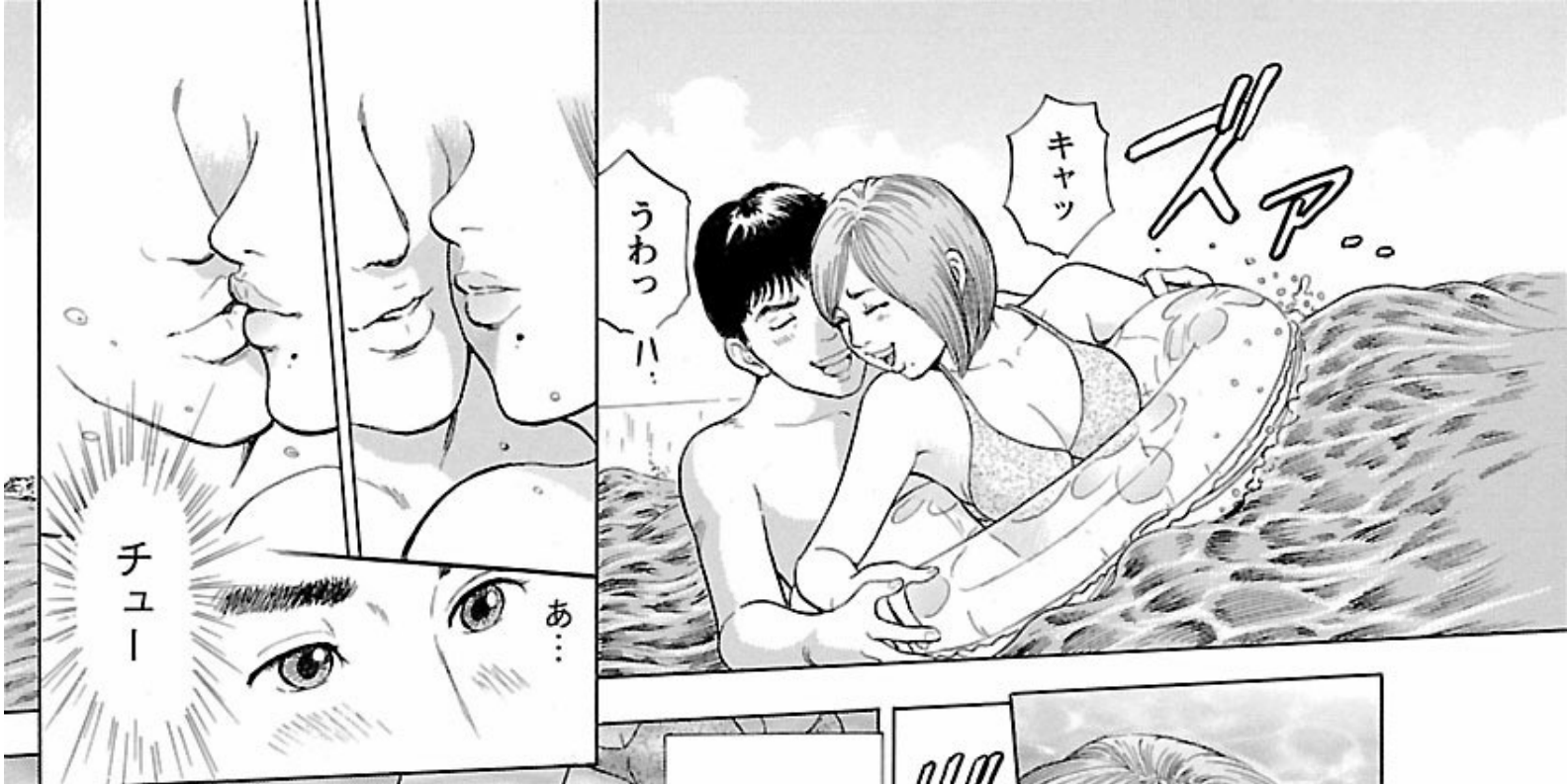












波が来るたび
体のいろんな
ところが
触れ合う



頬 肩 脚
下半身
尻



岩場に
着き

キヤ

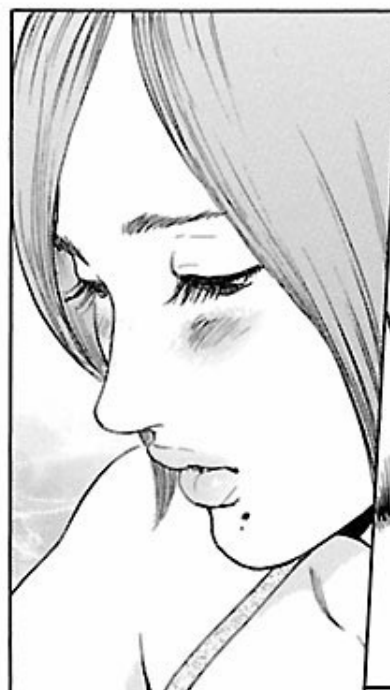
おーとと

2人
腰かけた

流されない
ように

んー?

オイル
塗ったから
すべるかも
……





「大丈夫
周り誰も
いないから…」
彼女が言った

そうだ 大丈夫

浜の方から
だって
見えつこない



水の中ならなおさらだ

「ナンパされて
ついてっちゃったかも…」
ウンとは思うが
仕返しのためにもあった

大丈夫!!
この娘は
僕を好いて
いる:



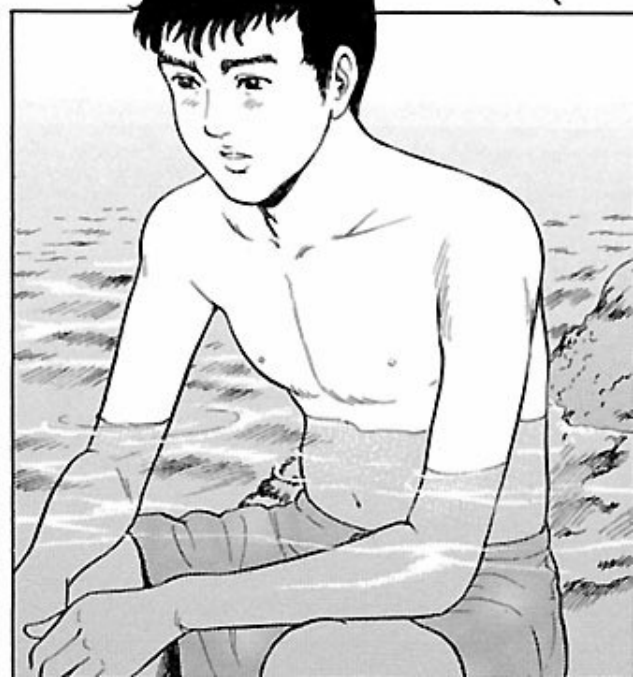
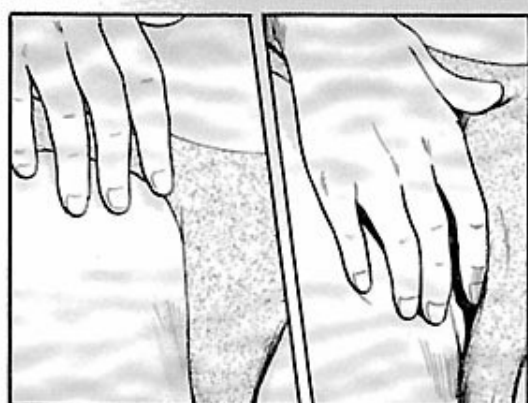
ヒロミ…



ノブちゃんさん
急に離れないでね

え







海上花火
...?

ちようどいい日に
当たって
ラッキーだったね

よかったー場所
とつといて



ノブちゃん
飲み物
買ってきてー

コンビニで

お菓子も

海の家
売り切れ
だったー

おうん



あじやあ
私も一緒に
……

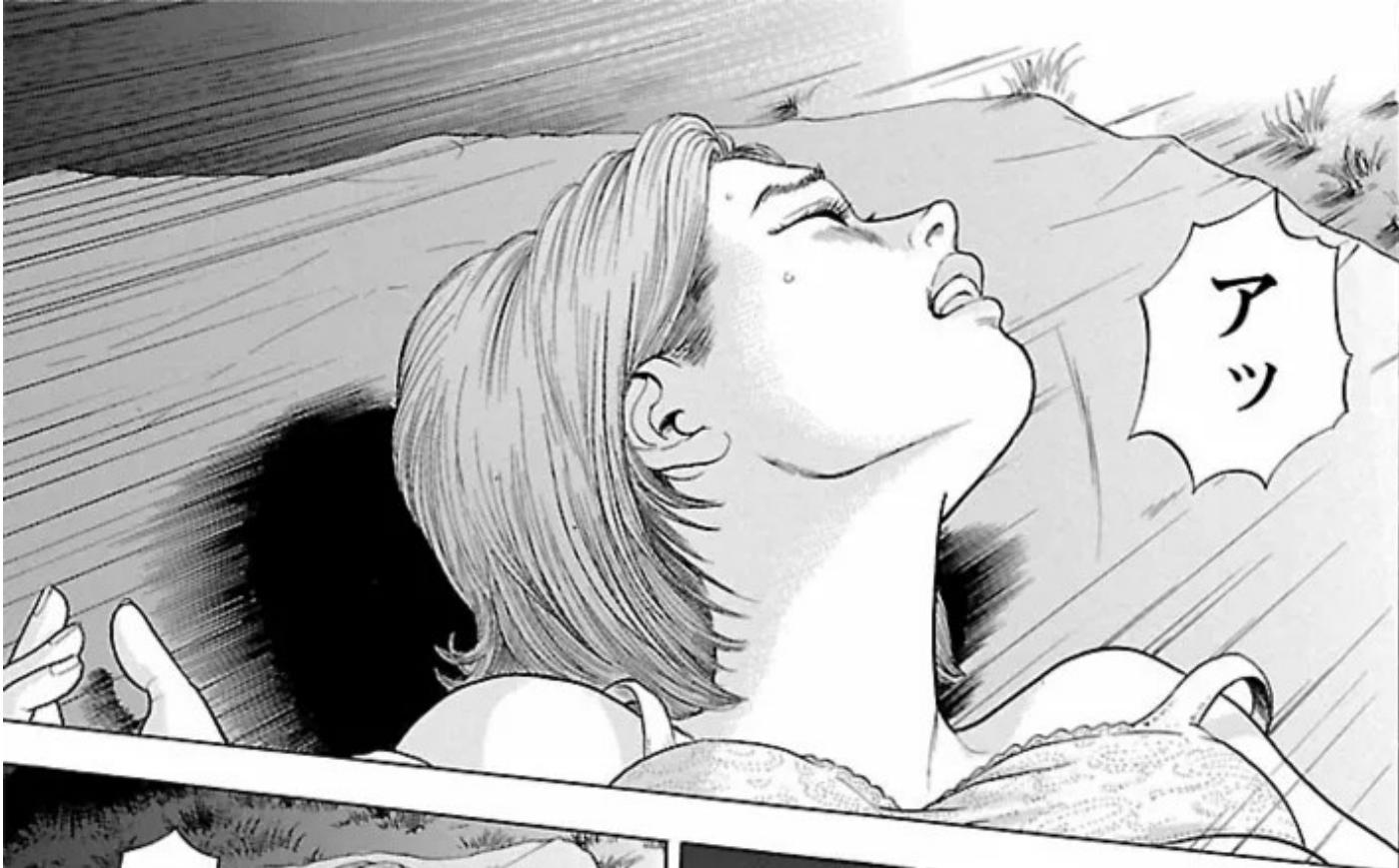
連れてきてもらって
何もしてないから
お金は私が……

お
えらーい









アッ



アッ

アッ

しちゃった...

ド



あ...



ア...

ア

アンア

ア

快感の中

2週間以上
ヒロミとは肌の
接触はなかった

激しく腰を
打ち続け
それは
ものの数分





言いようのない
快感がやってきた

なんだ
これは…!?



性器が
吸い込まれる
ような
下半身が
飲み込まれる
ような

出る...

また...

ああ...

あ...

ハア...



ヒロミさんが
好きなんですよ

2度目

アッ

あ

あ

あ

ハア...



2度目はその
言いようのない
快感のまま

体の中のもの
全てを
注ぎ込んだ



ダメ!
コンビニ
すごい並んでて
もう品物もないし

わき道で
自販機探してたら

時間くっちゃって
……

草むらにお金
落とすし
それを探して……

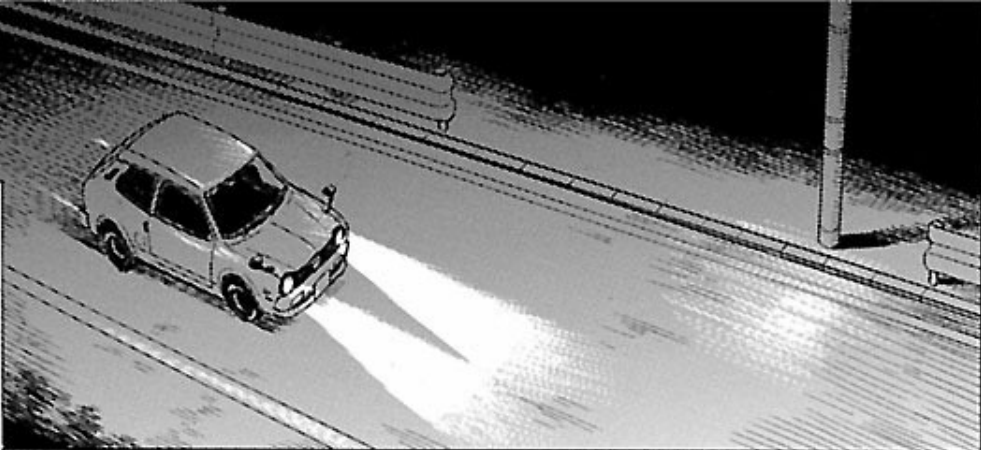


お待た……

イヤリ……

あっ
やっと来た!!
おそーい





その女性
奈穂とは
それきり
だった



数カ月後
ヒロミとは
「できちゃった婚」
職場を辞め
会うことも
なくなった



その後彼女も
職場を
去ったという



ホクロ…かな…?



二十何年も
たってるでしょ
顔だって
変わってるし
忘れるんじゃないか…?



やっぱり
ホクロで憶えてた
……?



ノブちゃん
何見てんの？

ンギヤ
ンギヤ

ん…

いや

そりゃ
ヒロミさん
にめらわ
たんだわ

そして
アルコールに
変わっていった

でぎちゃた婚？

「ちよつとお茶
でも…」…が
食事になり

あなたの
子よ
な…んて…

年齢的に
私の子
ではない

彼女は
バツイチ
娘が一人
という



それは
若さからなのか？
背徳感が
そういう快感を
呼んだのか…？

あれは素晴らしかった
あの快感は…
ヒロミ以外 何人かの
女性ともそういう
関係にもなったが
あのような快感は
あれ一度きりだ

そして
あの夜の話題に…



試してみ
てみる？



それとも
体質的なもの
そういう体なのか

私なりに
精一杯
ほめたつもりだ



声をかけた時
人違いだったら

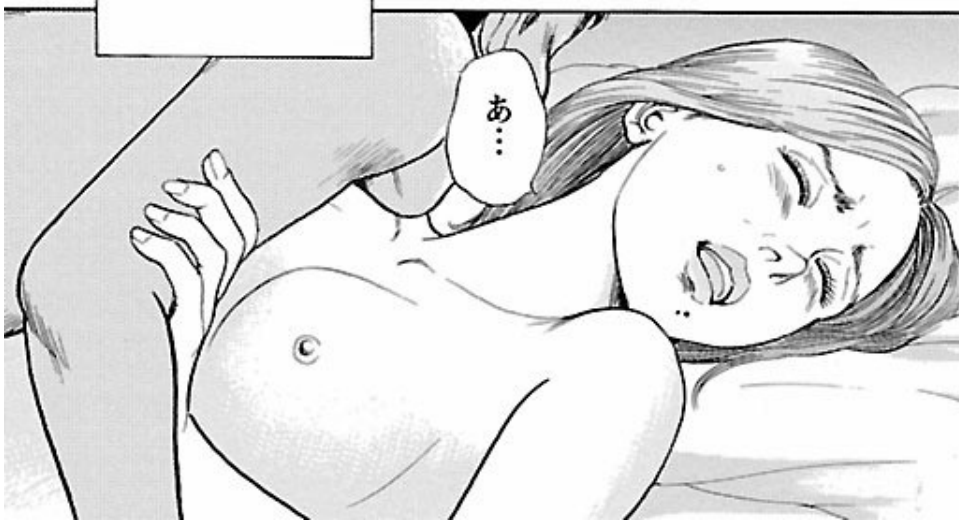
そのまま
ナンパにでも
切り替えようか
そういう気持ち
でもいた



このくらいの
年齢になると
こういう話は
スムーズに
進むらしい



怪しい動悸が
胸の奥で久しぶりに
高鳴る



あ…



ごく普通の…



ああ…

快感は あった
それなりに…



ん…!

んん!

やはりアレは
若さゆえ…の
背徳感が
作り出した
あの時だけの
ものだったのか…

下腹部に力を込め
キュッキュッと
締め上げてくる…
そんな姿が
いじらしかった









そうか…
欲しいと思ったら
その体が
吸い取ろうとする

ン
意思とは
関係なく…

ハア…

どうして…?

こういう
女なのだ…

ヒロミさん
愛してんでしょ
…?

どうして…?

第2話 健児の嫁



ポルノ・グラフィティ
Porno graffiti









ずいぶん
急な祝言で
ねエげえ？

ま親同士は
進めでだ
らしいけどな

ほら健児
さ…



帰ってきてもう
田作れって

嫁でも取らせれば
落ちづくべって…

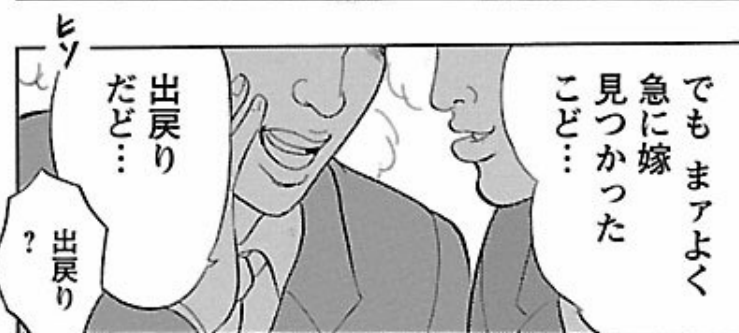


東京で水商売の女と
暮らしてつとこ首根つこ
つかまれで連れ戻されたど

えっ
オラ

色街の女って
聞いたど

ワッ！



でもまアよく
急に嫁
見つかった
こと…

出戻り
だど…

出戻り
？



前に一回…

姑に嫌われで
追ん出されだ
経験ある女だつと

おメラ

祝いの
席だど

あ
ヒロキ



健児は再び
東京の女のもとへ
旅立った

しかしそれから
三日も
たたぬうち

彼女の事を忘れ
彼女と二人ひっそり
暮らします
捜さないで下さい
健児



あんの
バガたれ
が!!

ごめんなさいね
真津美さん

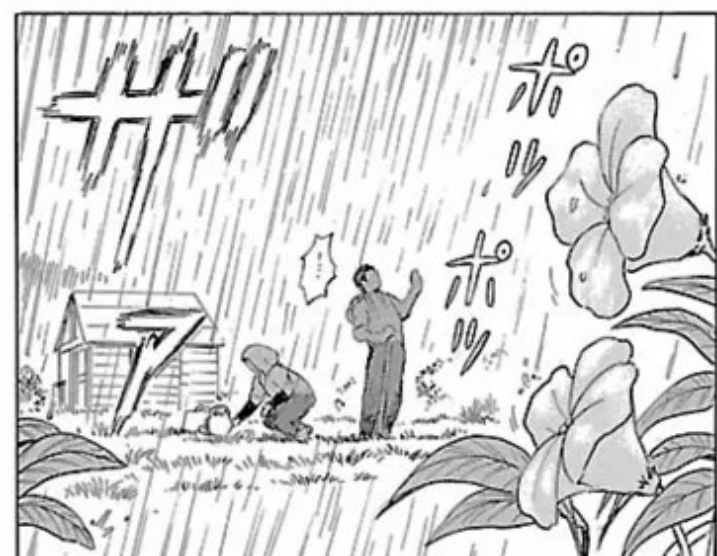
もう健児の
ことは全て…



しかし
二度の出戻りは
さすがに世間体も
あって戻れず

何とか
置いていただけ
ないか…と
働きますから…と

しかし 健児の家の
稲刈りには日は
まだ遠く…









どれ



痛?

うん
少し



口には吐かず



慣れない
カマふりで
痛めたかい
困った
お嬢さんだぜ



あ
つい...

後悔もせず

拒みもせず...



新婚旅行は東京だぜ
赤い服着てハイヒール履いて
きつとイカスぜ

細い
やわらかい腕

それにしても華奢な



健児のこと
なんか忘れて
俺んどこ
来いや



腕の
つけ根
……

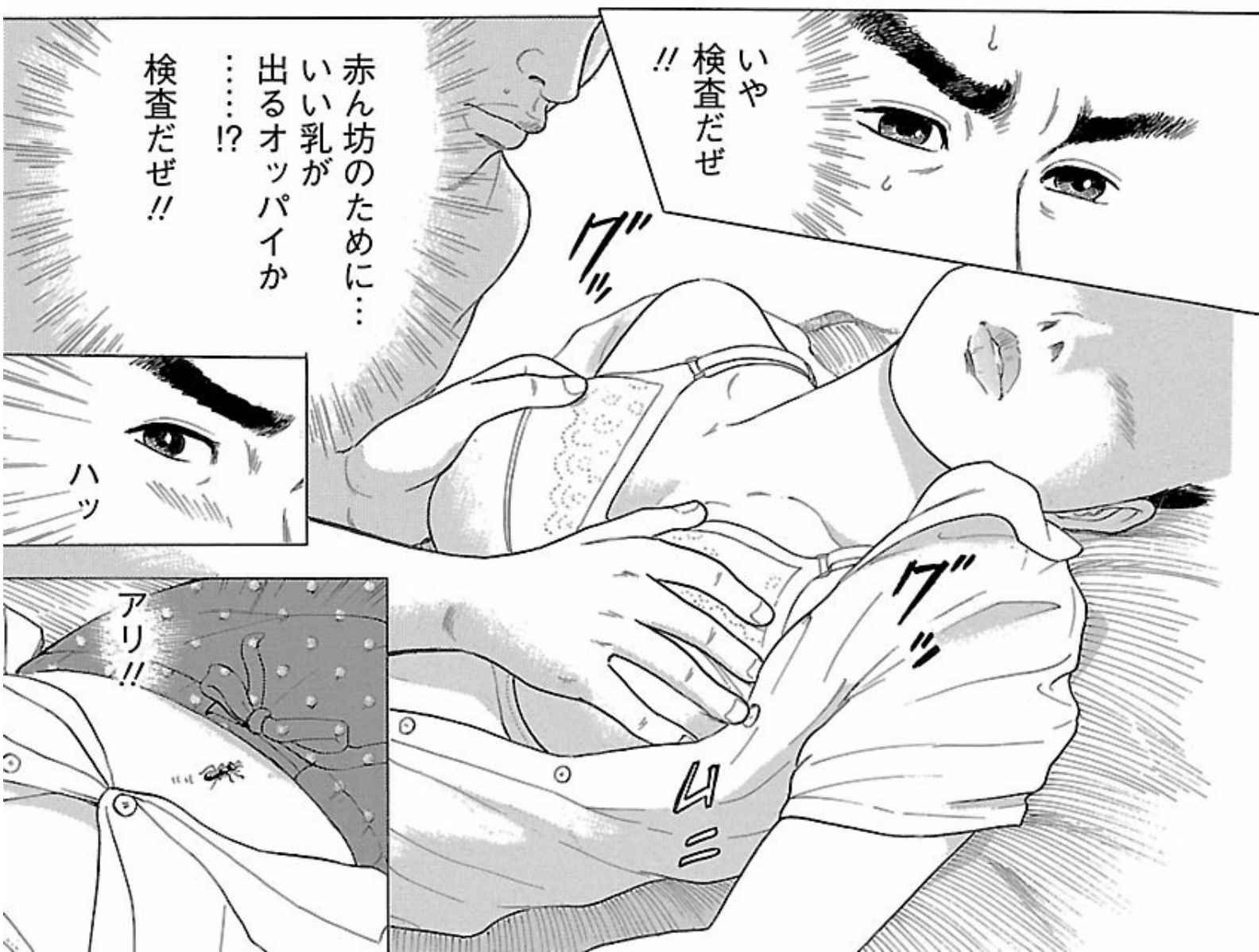
どれ

うん少し

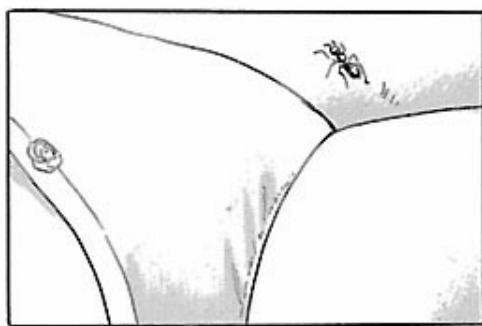
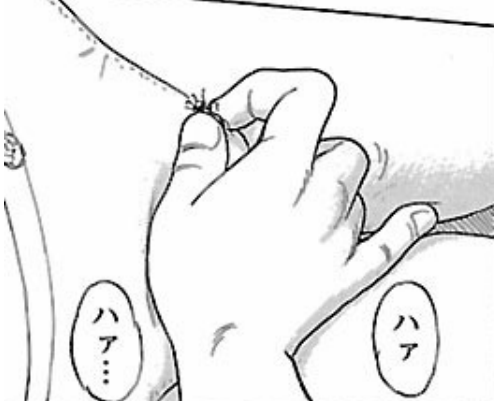
そこも……?











いや
検査だぜ

いい
赤ん坊が
産まれる
アソコか
検査だぜ

んん…

ああ
何て
カワイイんだ
真津美さんの
ココ…

コンモリ
してて
やわらかくて
手のひらに

ふつくら…

ハア

ハア

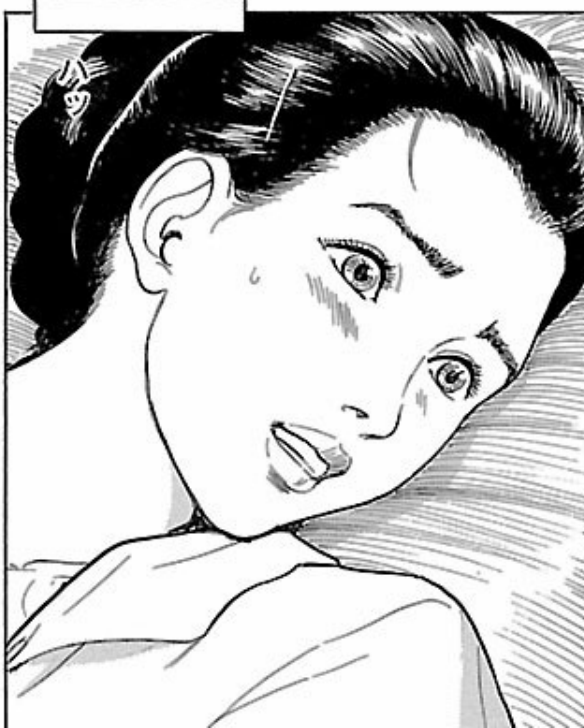
ハア

ハア

そして
赤ん坊が
産まれたら
…









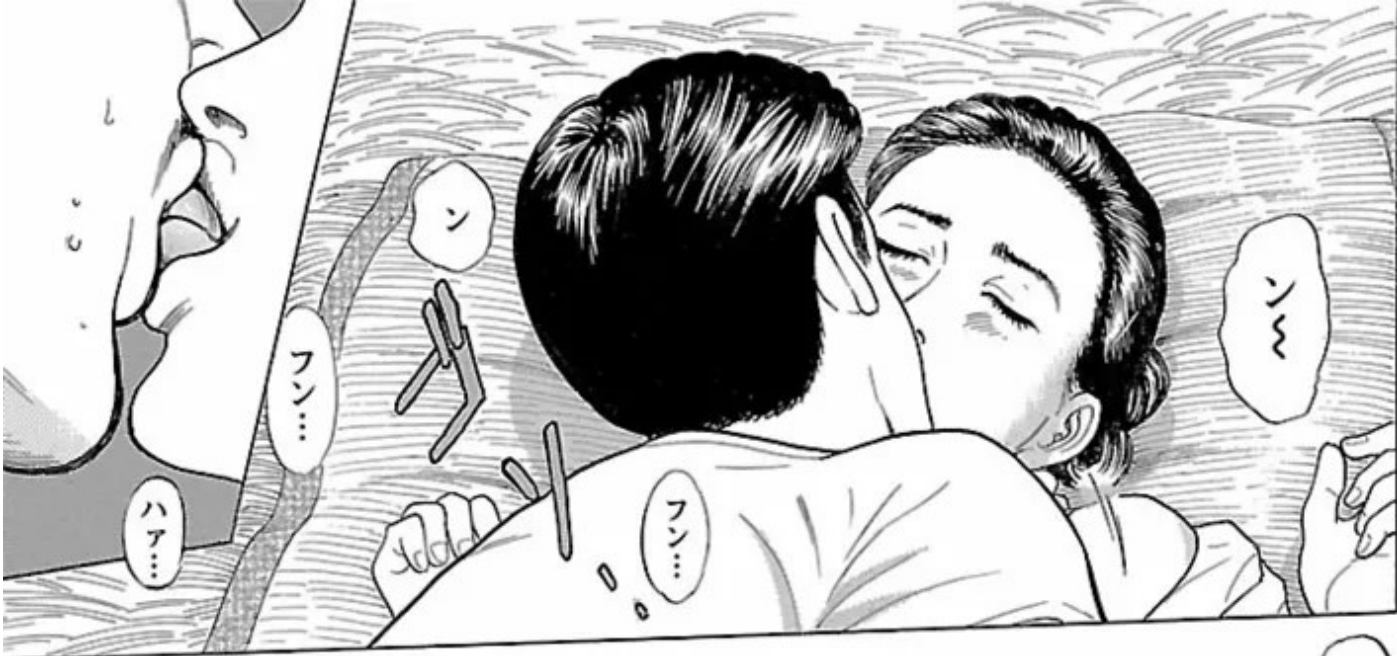
と
止まらねエよ
真津美さん

真津美さんの
アソコ…
毛が…ワレメが
……ああ

濡れでる!!



真津美さん



あつたけエ

ア

ア

真津美さん
の中
あつたけエ



気持ちいいのかい
真津美さん

いいのかい

アアッ

アア







拭かれるのを
拒みもせず

萎えもせず



先ほどの
自分の姿が
恥ずかしくもあり

ただこの先
自分は
どうなるのか



それを
優しく

瞳が
包み込む



不安げな
目をするばかり



嫁に
来いや

二度目

口には出さず

次の日

あら
真津美さん
早いね





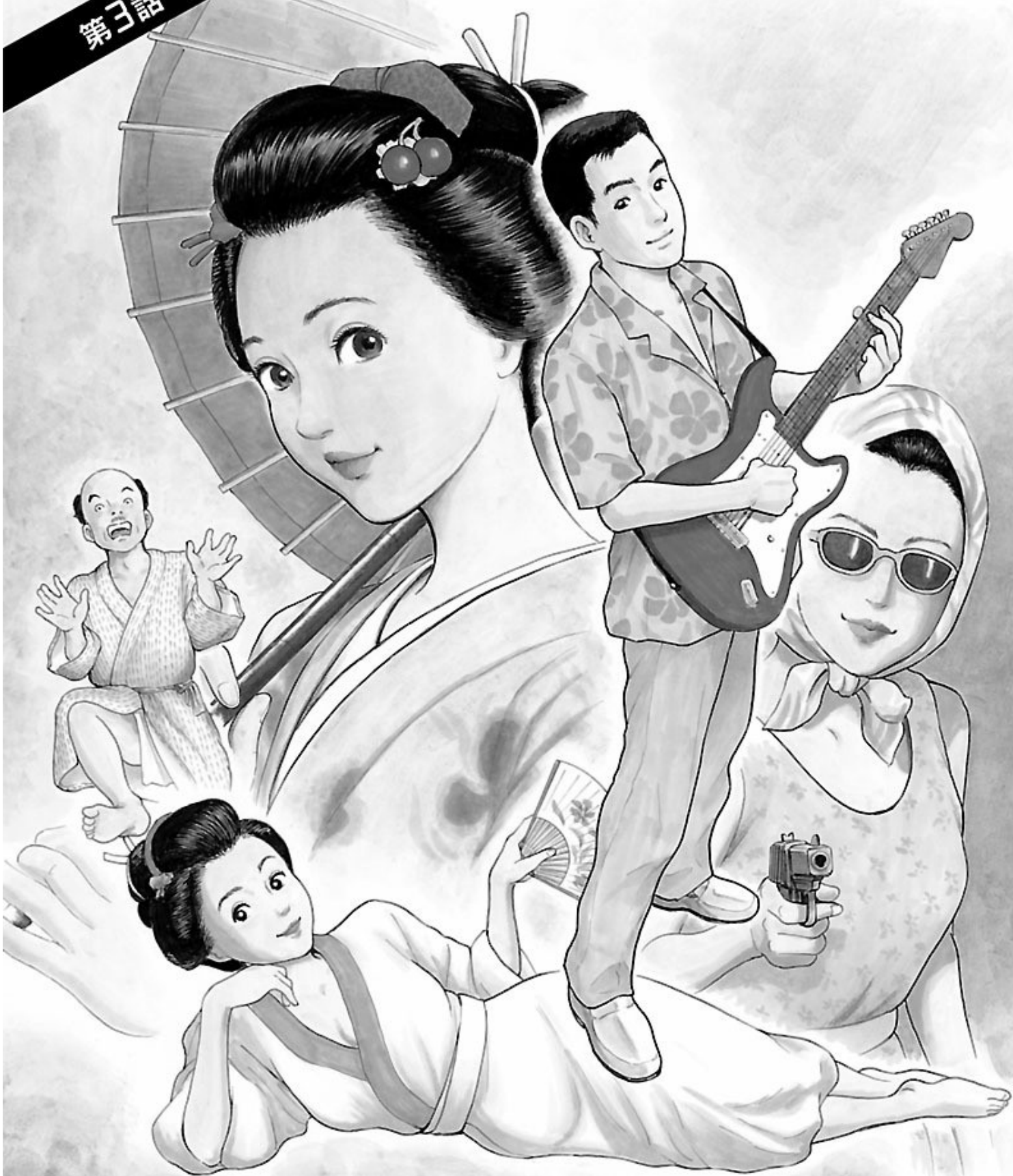


それから
三カ月後には
ごく身内で
祝い事が…

そして
初めての日から
とつきとおか
十月十日目には
めでたいことが
起こったという



第3話 さくらんぼ芸者



ポルノ・グラフィティ
Porno graffiti



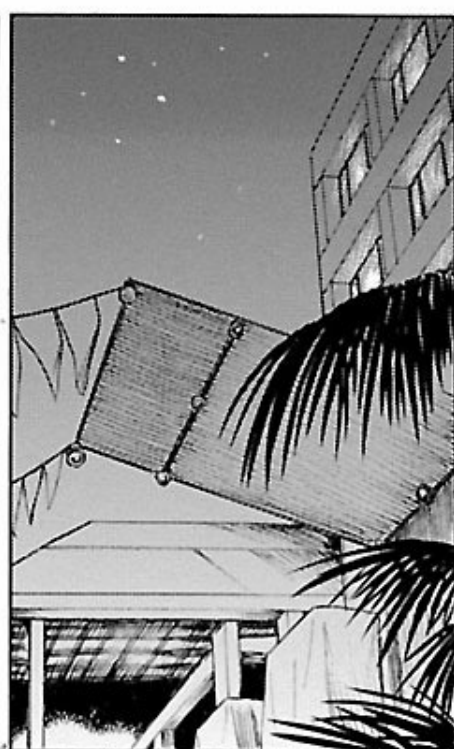
高度経済成長の
中

大学生になった
私は学生仲間の
ハワイアンバンドの
一員として

全国的にも有名な
この温泉地の
大きなホテルで
夏休みの間だけ
アルバイトを
していた

S県
A市













私 由美江

本名 由美子…フフ



…彦…
みんな
彦って呼んでる

彦ちゃんか…フフ

ちゃんは余計だよ



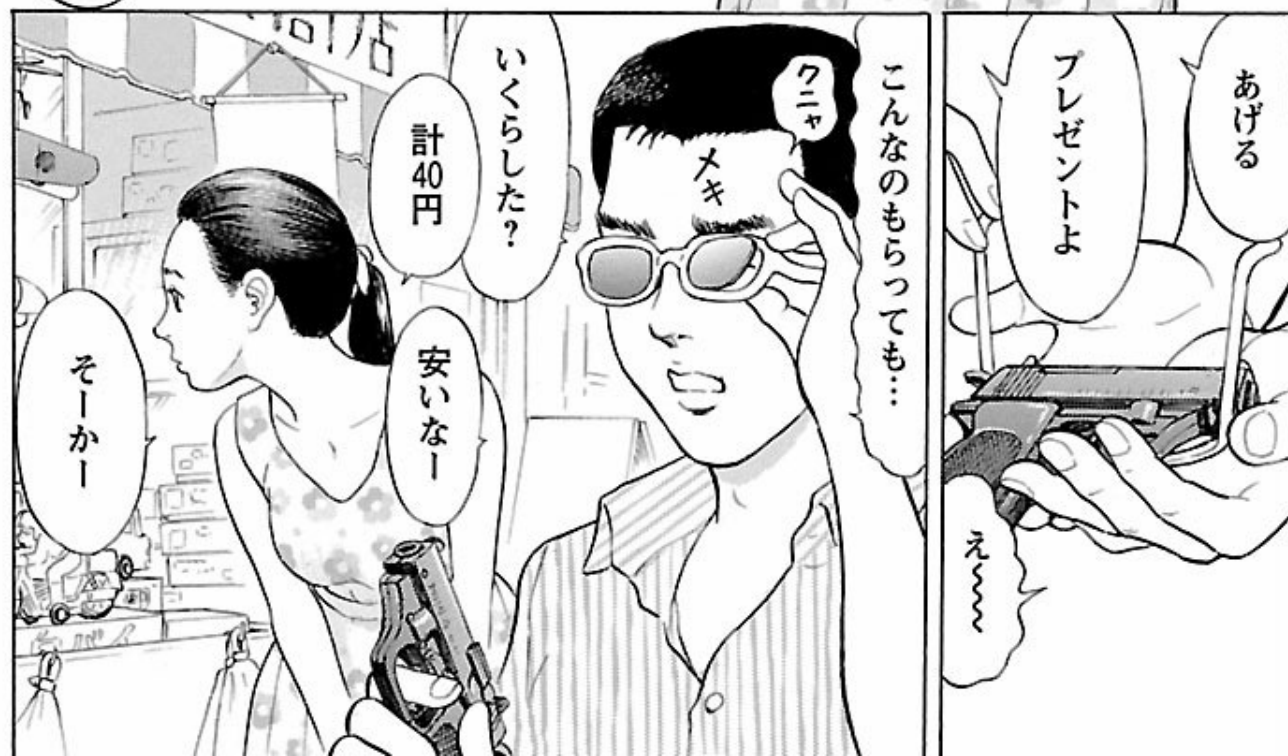
短い
会話を
交わすだけの
その程度の
仲…

来て早々
会話を
交わし
その後
5、6回



次の日

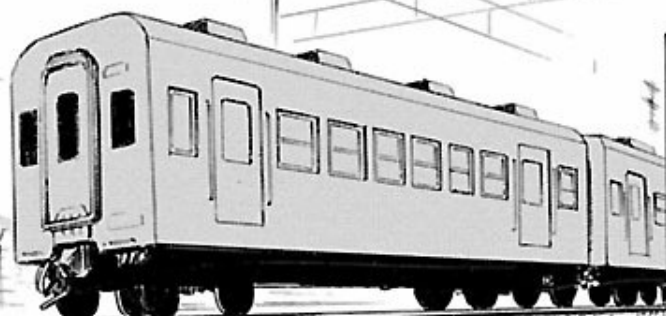
えと…
スマートボール屋の
前…だから…





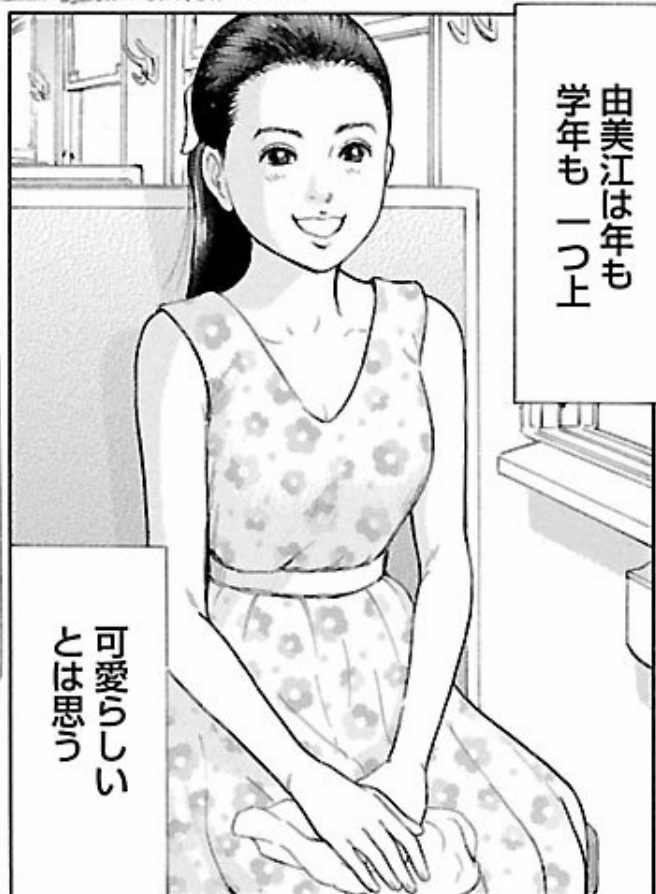
西の方向
なら
知人と会う
こともない

汽車の
中では
お互いのことを
たくさん話した



由美江は年も
学年も一つ上

可愛らしい
とは思う



ただ
恋愛感情は？
というところ正直
ギモンだった

それは
彼女と同じ
はず



夏ももう終わり

海に行くなり
なんなりお互い
手近な相手が
欲しかったのだ
ろう



キヤ

この辺も
この頃になると
人影もまばらだ





別の興味も
わいてくる



食事もし…

泳がないの？

うん
日焼けしたら
怒られるし…

数時間こう
一緒に
過ごして
いると



先制!?

彦ちゃんキッス
したことある？

えっ



フフ…

あねエゼと
ないですが
一緒になっちゃっ
…

あ…



ねエゼす

ねエゼす？



それは数秒

大丈夫
人影はまばら
誰も見てない…

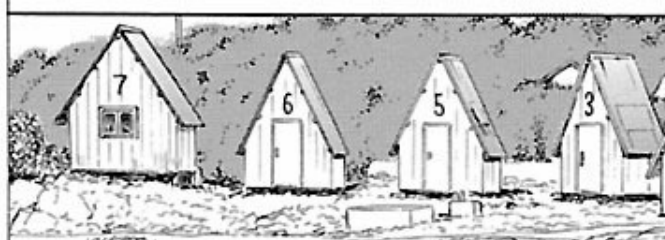


バンガロー
借りよっか

え…



足疲れて…



その中の
一つ
人目に
つかない
一番はじ

当時
観光地には
こういった
簡易宿泊
施設が
数多くあった

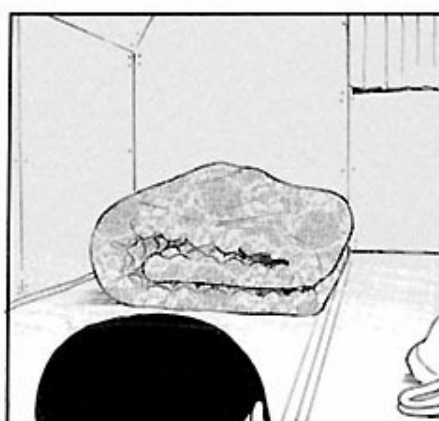


中は
6畳ほどの
部屋と



料金は彼女が
払ってくれた





ドギマギしている
私を言葉で
リードしてくれる

あ…

うん

彦ちゃんも脱いでエ…

シュミーズ姿なのは
脱がす興奮を
味わわせるためか

ン…

ハア…

ハア…



ああ
これが
女の人の
秘部!!
な中が
クニユツと
してて…

ハア

ハア

ン



グ
ッ



ハア…

も…
もういいのかな



ハア

前戯がどうとか
もう前知識は
ぶっ飛んじゃって



どこだ!?

どこだ!?

グ
ッ

グ
ッ

ン

入り口が
わからず
さまよっていると
彼女が

二本の指でやさしく中へと
導いてくれた



しかし
まだ
4センチ
ほど

誰に教えられた
わけでもなく
腰を使ってしまう
奥へ奥へ

次第に
彼女のモノも
やわらかくなり

徐々に
中へ
5割
7割...





ブツツと
肉が割れる
感じがして
ほぼ100%中へ
入った

と 抽送ちゅうそうを続ける



彼女の中は
ますます
やわらかくなり
さらに奥へ

奥へ…



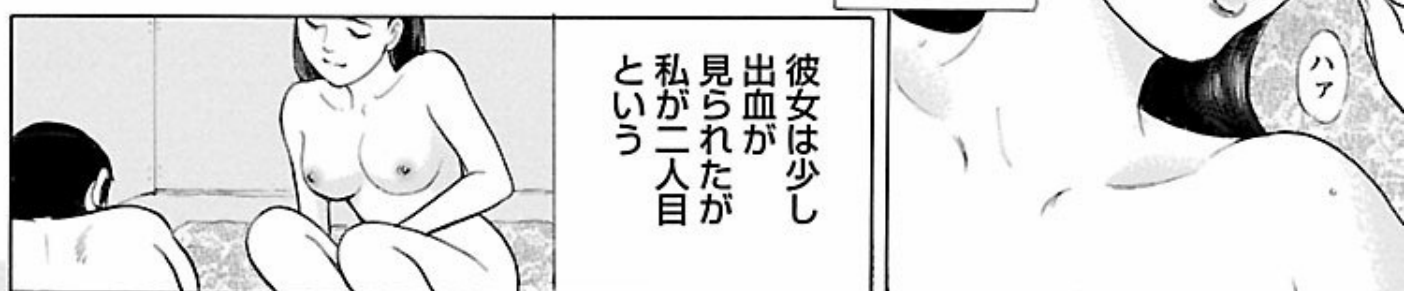
思う存分
腰を使う



どのくらい
たったろうか

次第に
彼女に
変化が
訪れた





そんな会話の中
抱き合っていると
再び
欲情してきた

処女膜
残ってたのかも

よくわからない
うちに
終わっちゃった
から

二人とも
絶頂に達したんだ
と思う

えっ ホント?
初めてだった
の?

何故 喜ぶ?

うん

ハア

ハア



あれ…

えと…
どうやって

今度は彼女が
上になるという



もう一度
する？

うん…

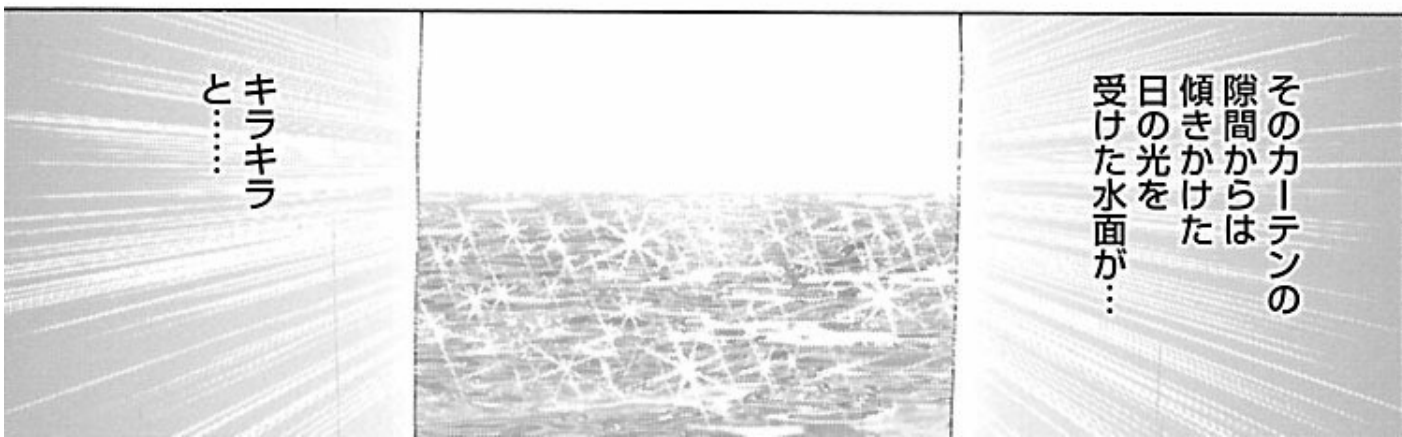


ん…

どっ…

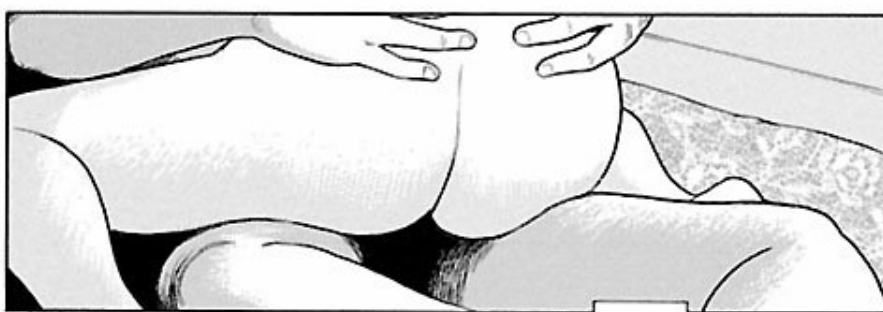
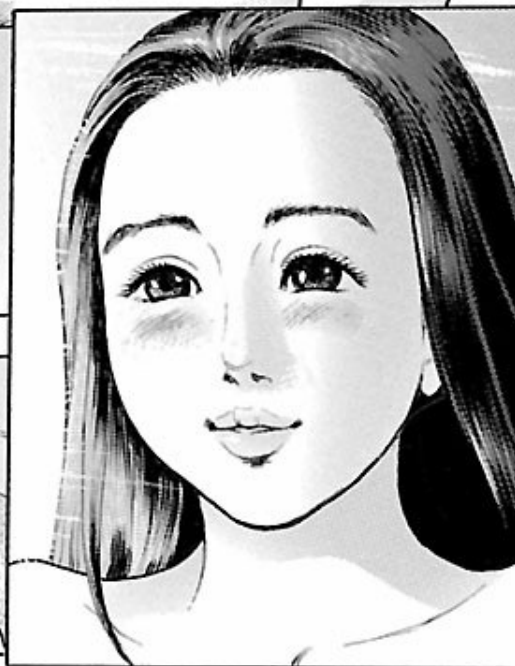


何？



キラキラ
と…

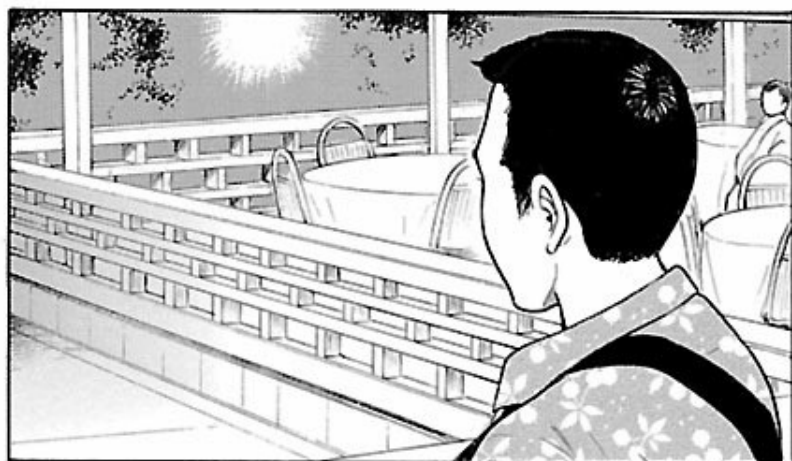
そのカーテンの
隙間からは
傾きかけた
日の光を
受けた水面が…



二度目

そして
絶頂





次の日







いつでも会える
と楽観的な
考えは
しない方がいい

二度と
このホテルに
来ることはなかった

バンドも
メンバーが変わったり
アルバイト先も
ビヤホールやデパートの屋上

私自身も
バンドを移ったり
ジャズから
カントリー……etc

そして
長い長い
時間が
過ぎていった

何年も
何十年も
……

再び
この土地を
訪れた時
町は様変わり
面影は微かに
そこかしこに
あったが

ホテルはもう
なくなって
いた

あおじいちゃん
おもちや屋だー

ほうー

こりや
懐かしい





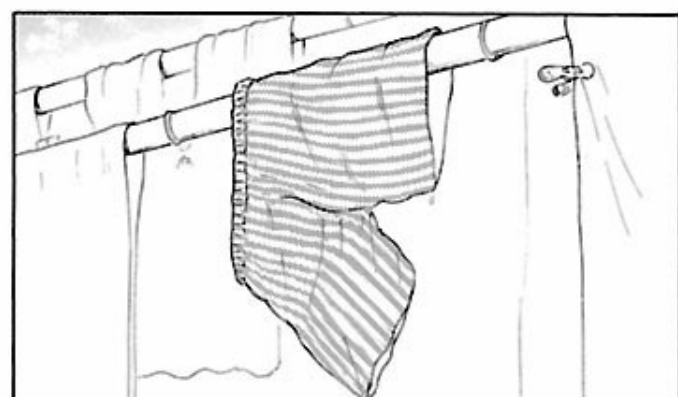
いやいや
まさか！
まさかな——

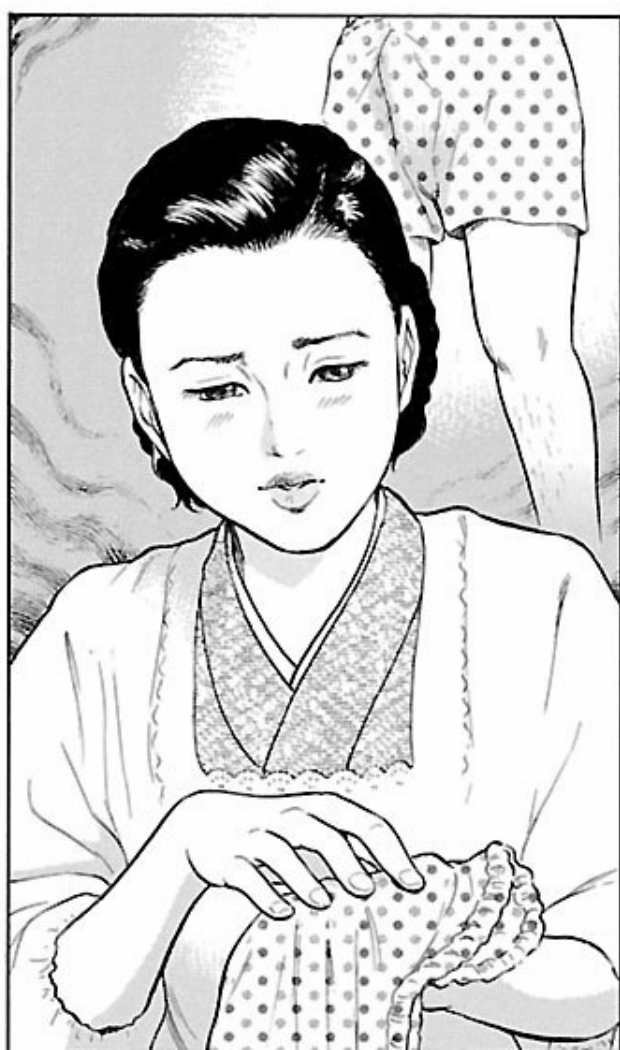
いや……
まさかな——

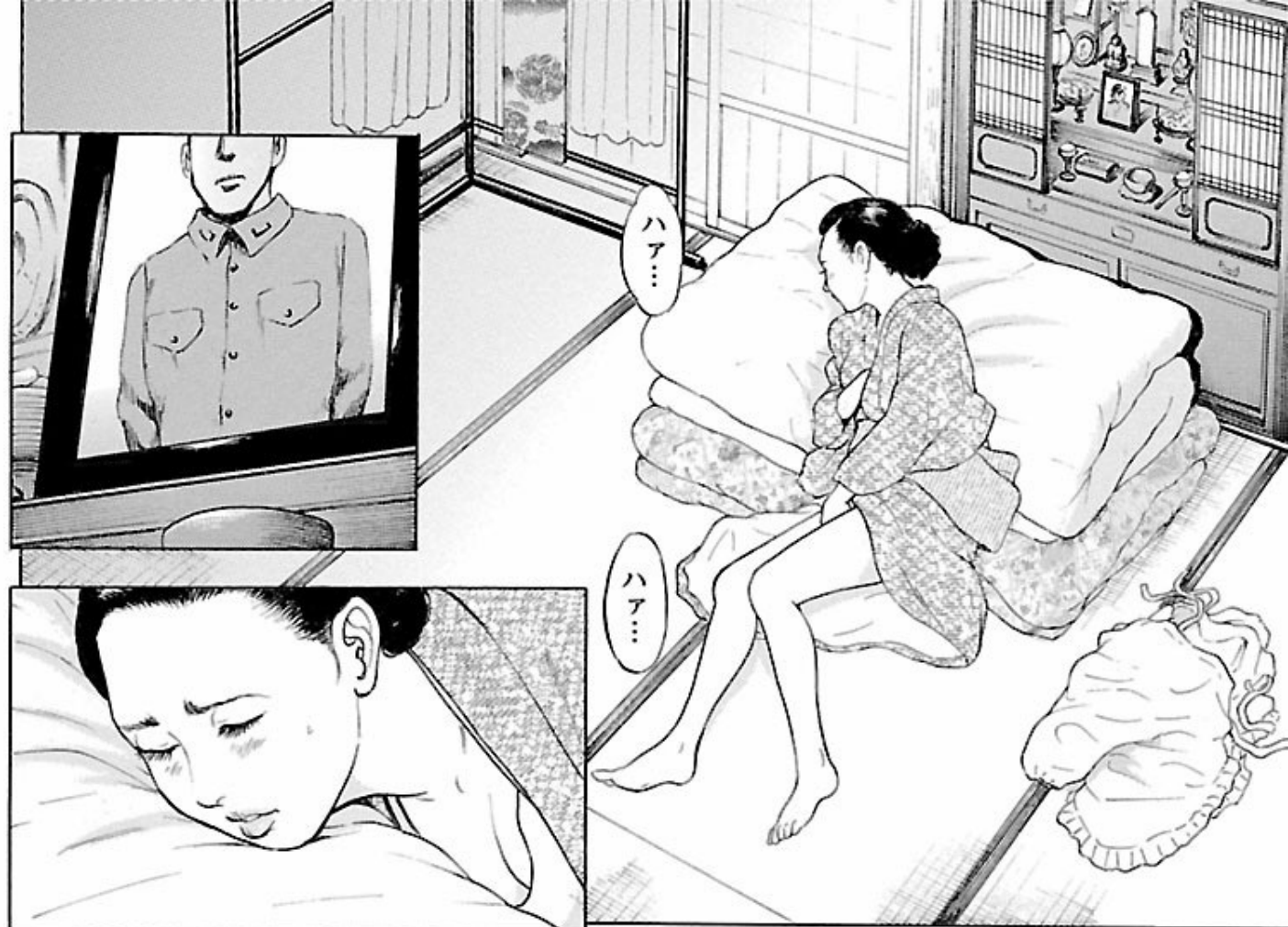
第3話●END



第4話 未亡人下宿「手記」より







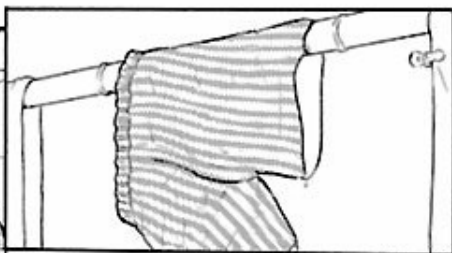
女の
手内職や
小さな
仕事では
生活は
ままならず

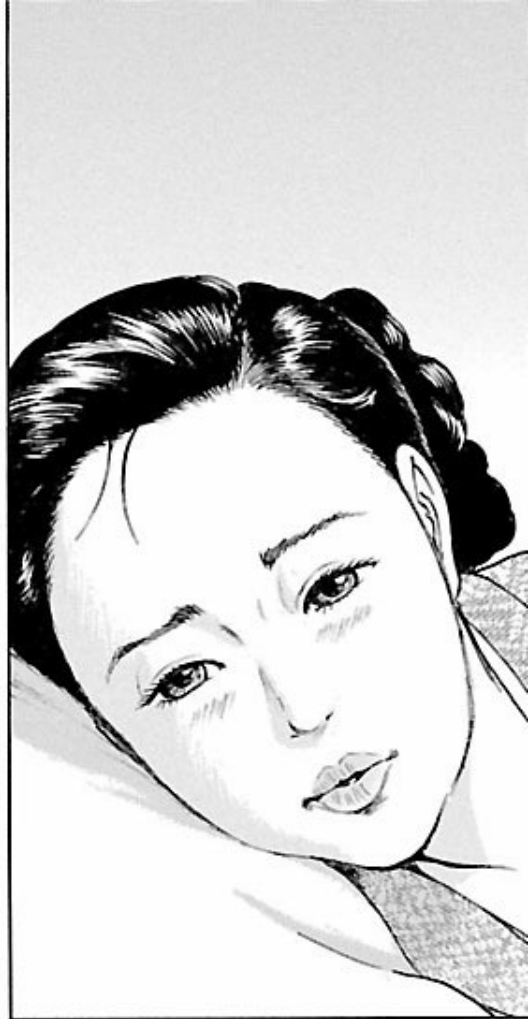
幸い
家は
ありましたので

二階を
下宿人に
貸してありました



ただその下宿人が
独り身を火照らせる一つの
要因ともなっていたのです



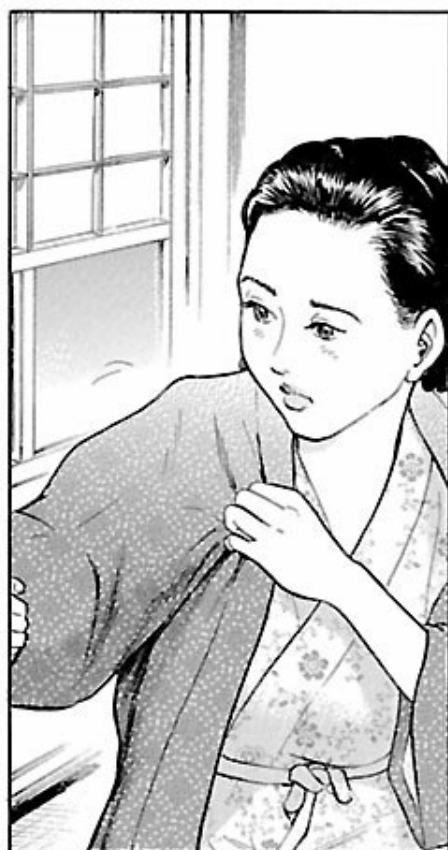




下宿人は
滝田さんと申しまして
肩幅の広い



カラ
カラ



あ
奥さん
こんな遅くなって
すみません

お帰りなさい

新聞社にお勤めで
アメリカさん相手の
通訳や翻訳を
なさっている方でした







二週間!!



結婚生活も
二週間ですわ

初めて会った
その日が
結婚式の日



一瞬
夫との
夜の行為が
頭をよぎりました



二週間で
ミツちゃんを...



そんな時
無邪気におどけて
チョコレートを口に
押し込んできたのです

はい

チョコレート

え

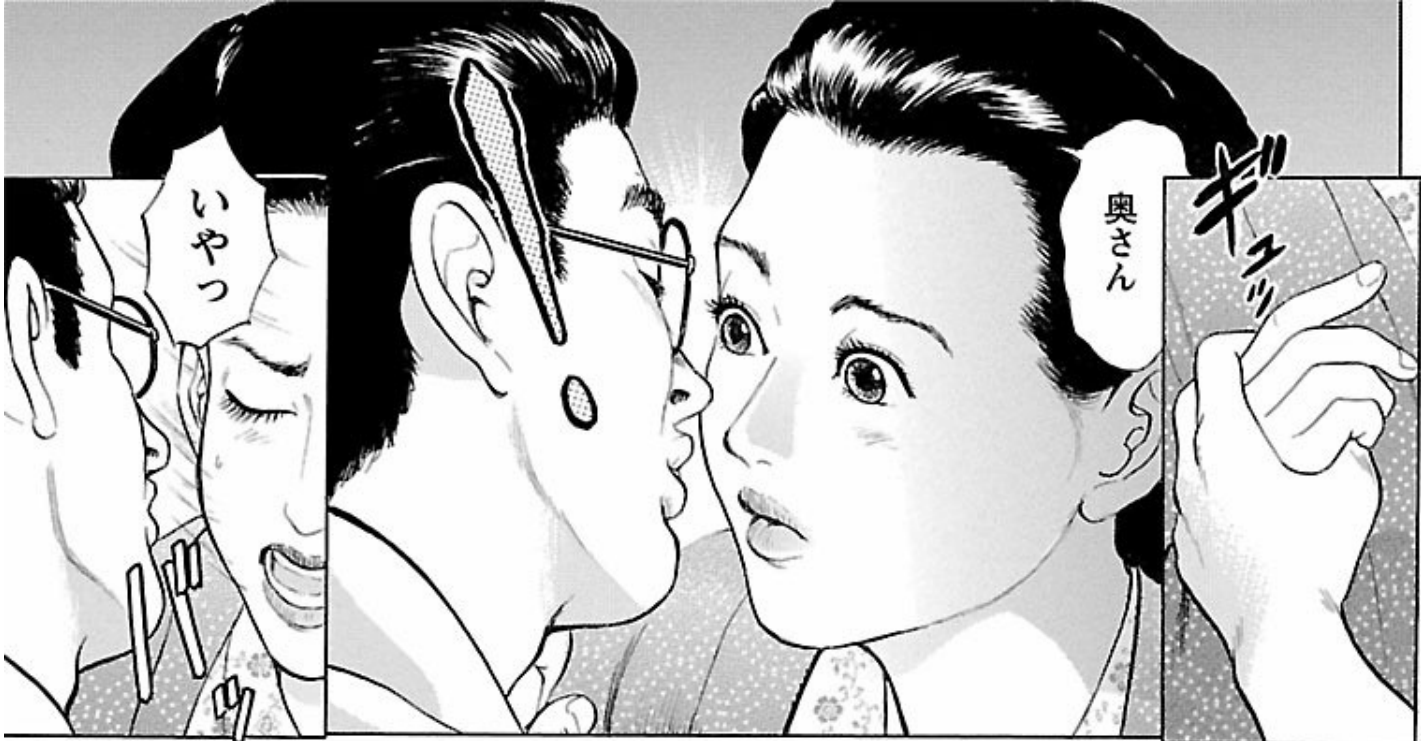
いや奥さん
変な話して
申し訳ない



ん...







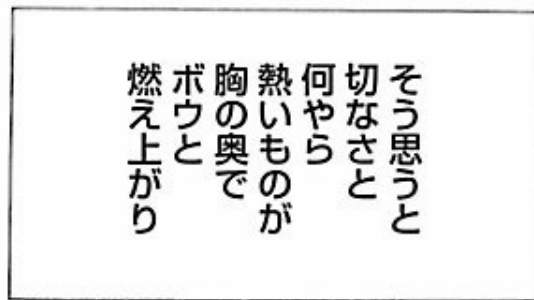
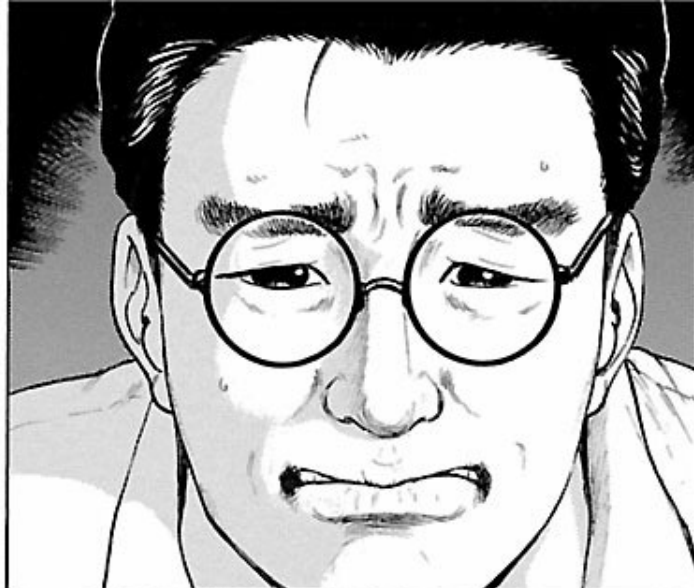








滝田さんの
顔を見ると
切なくなり



そう思うと
切なさ
何やら
熱いものが
胸の奥で
ボウと
燃え上がり



この方とも
もうすぐ
お別れが
……



思わず首に
手を回していたのです



ハア……



ハア……



アアツ

熱い固まりが
秘部にあてがわれた
と間もなく…

ズブリと
私の中へ
入ってきたので
ございます



ご自分のこわばりが
私の秘^{ひな}壺にピタリ
おさまっているのを
確認すると

もうトロくでしたもの



滝田さん
あまりのスミーズさに
一瞬とまどいを
見せるも…



快感でした

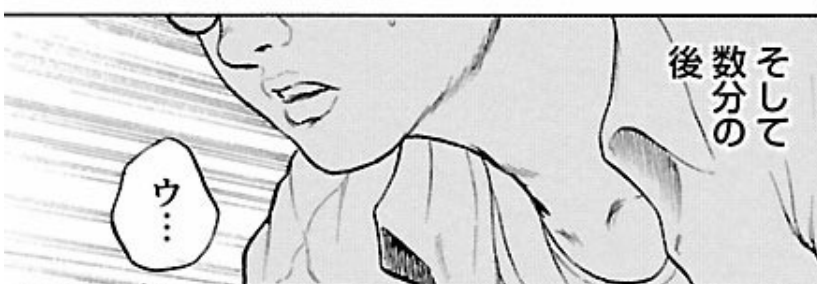
待ち望んでいた
男のモノが
壺を
激しくえぐる
心地良さ

思わず
声が…
あえぐ声が
大きくなり
恥ずかしく

滝田さんの
肩に口を
押し当て
消そうとするも

ついきつく
抱きしめ
快感を…

滝田さんの
モノをもっと…もっと
深く受け入れようと
致します

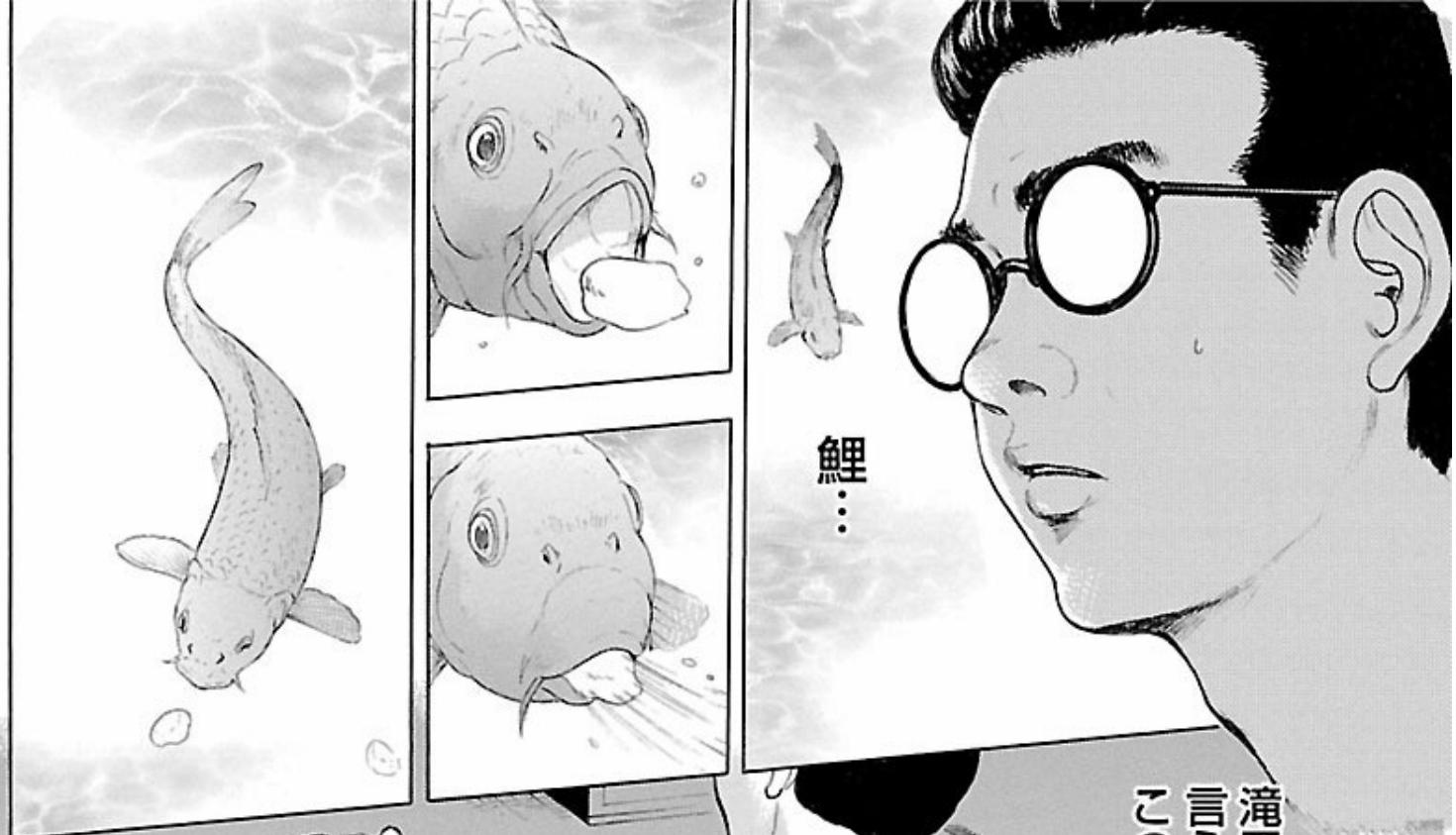




ア
ア
...

ウ
ウ
...





鯉…

滝田さんが
言うには
この時私のモノが

鯉の口のように
五、六度収縮したと
言います



果てました…

己の指
ではなく
男のモノで

良枝さん

許して下さいね

この時
滝田さんは
初めて名前で
呼んで下さい
ました

もう腰が抜けるほど!!



その夜は
朝方近くまで

お互いを
求め合いました

やや子が
できたら
責に…

いや
できると
いいな

結婚
しましょう
良枝さん

激しく…
幾度も…

まるで
手ぬぐいが
絡み合う
ように…

水を吸った
綿のように
なるまで

そして…

え



ア—

アウツ

あんな
恥ずかしい
つながらり方
まで...



お尻の穴まで
見られる
恥ずかしさと
快感が
入り交じり
...

あ...

また...

ア

ン

ン...



ズボン姿の時も…



スカートの時も

着物の時も

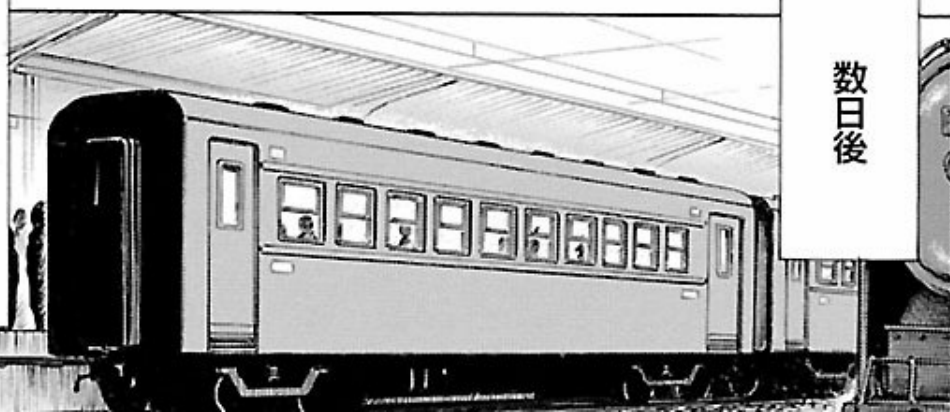
奥さんの
この腰つきが
好きだった



ああ…
この腰が
今僕の
腹の下に…



数日後



滝田さんは
名古屋に
去って
いきました



二、三年
たったら戻ってきます
待って居て下さいネ



酔った上での
言葉では
ないんです



おいしい?

うん

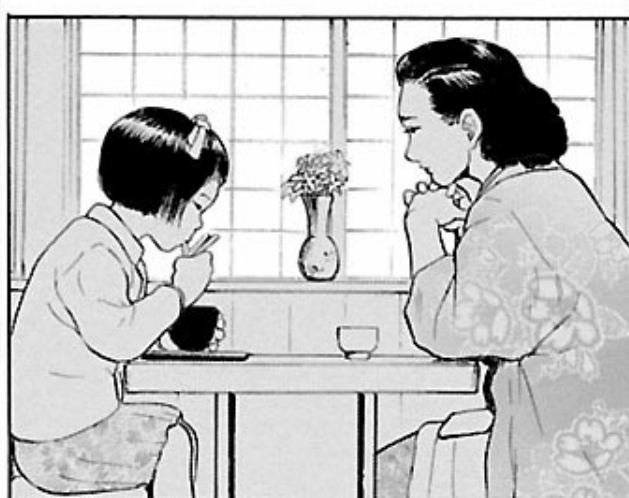


滝田さんの言葉を
信じてない訳では
ありませんが…

ただ…



思いは募る
のですが…



時がたつにつれ
別れの痛みも
和らぎ



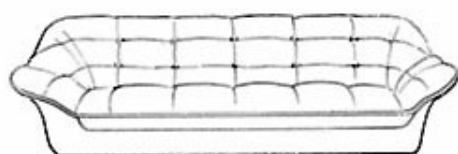
ただ
若い殿方と
接する時

何故か
妖しい腰つきに
なってしまう
ワ…

いぢぢですの

かしこ…

第5話 ソファーの海(前編)

















狭いでしょう
こちら辺

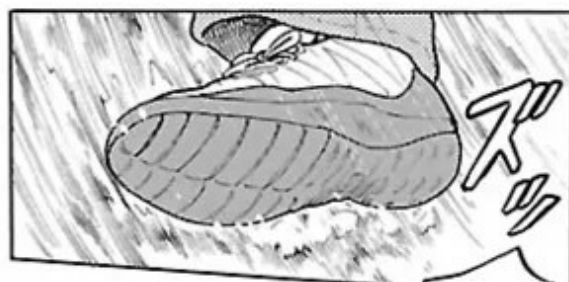
こっちです



こっち



こっちです



ズッ



おわっ

ズッ



右へ曲がったり
左へ曲がったり

何だかわざと

遠回り

してる

ような...

フッ

家の場所を

覚えさせないためか...





それに
ズボンも洗わないと...

うちの...乾燥機付きだから
乾かしてって...



この家
当分
私一人きりだし

気にしないで



じゃ僕

これで...

あー
ダメダメダメ
そんな濡れた
まんまじゃ...



まア...Tシャツも
濡れちゃって

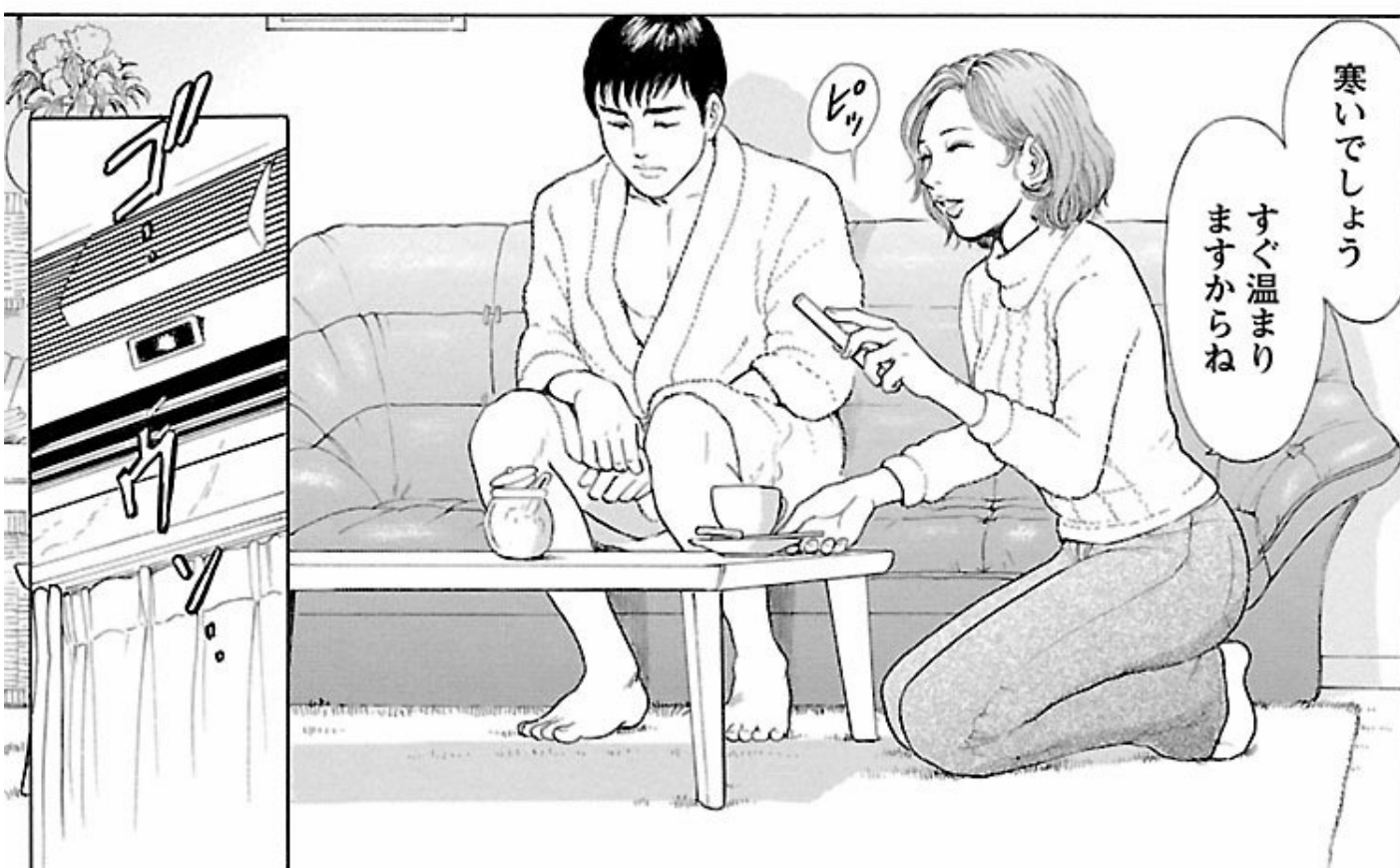
それもね

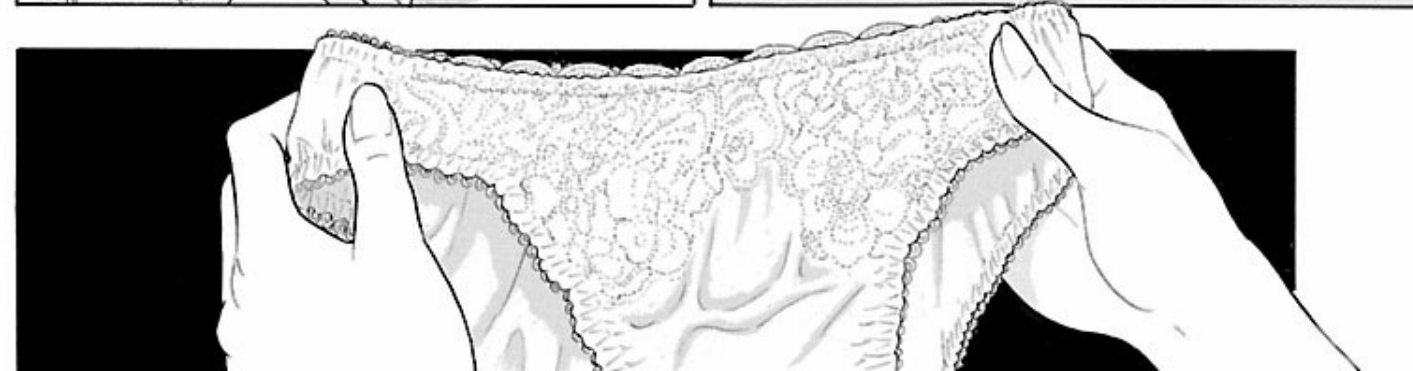
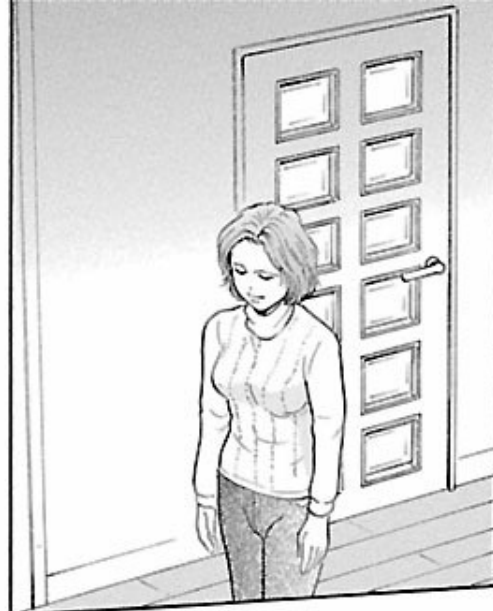


はいこれ
バスローブ
私のだから
小さいけど

あ濡れたの
そこに
放り込んじゃって











それを知らずに
この人
うたた寝
しちゃって…

この冷氣の中…
ガウン一枚で…



演技ではない

ゴメンな
さい…

この肩…体
本当に
冷たい

そばに
人が
来たら

暖を
取るため
思わず
抱きしめる

それは
自然な行動…

これは私の責任!!



こうなったのも
自分の責任!!

異様な光景では
あるが
自然な行動
私にできるのは

この人の体を
温めること
体温が回復するまで
ジツとしてさえすれば





幼子の手足を
温めるため
布団の中で
母親が
太ももに
挟んで温めて
寝る



そんな漫画を
読んだことが
あるような…

かじかんだ指

冷たい…

あでもダメ…

太ももだけなら
あダメ…

やっぱり…

う…
動かさないで…

軽く抵抗する
人妻だったか…

指は温かみを
求めて上へ…

さらに温かみを
求め

かすかに
うごめく…

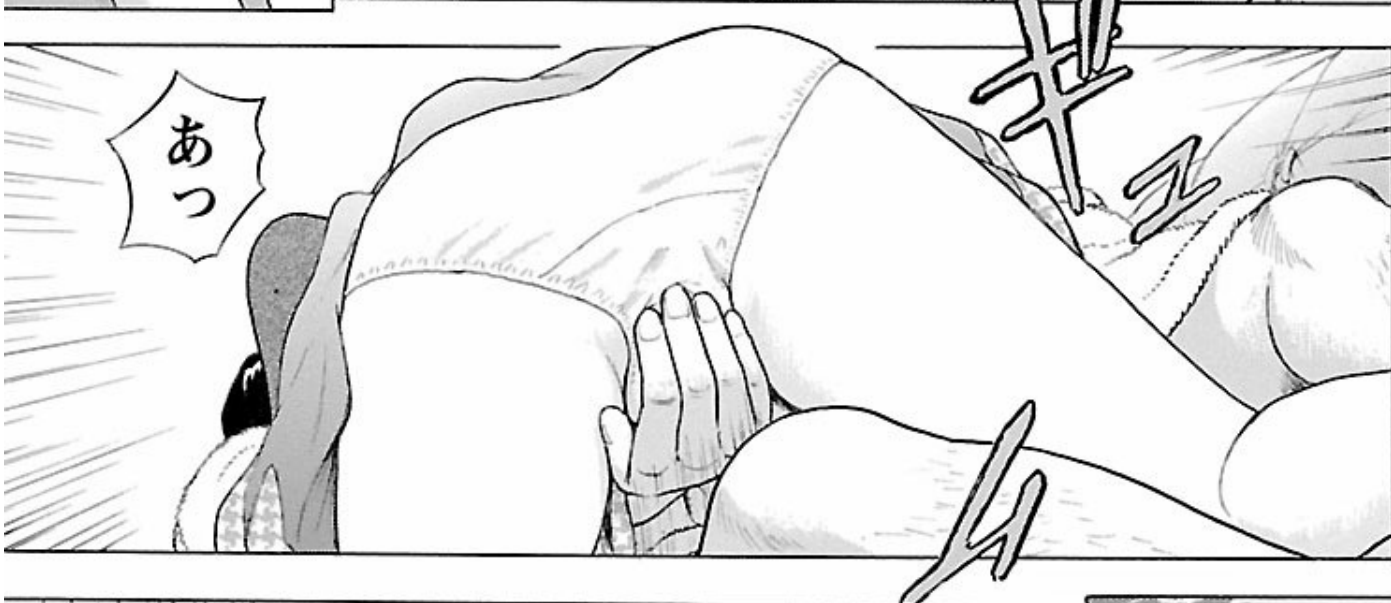
冷たい指を
擦り合わせる
ように…

久しぶりの
男の指だった

それも
夫以外の

男の指…

足…











しかし人の体の中で
尻は一番体温の低い所

冷たい
手は
暖を求めて
徐々に
前へ前へと
回り込む…



手は
繁みに
触れ



あ…
あ…

ん…

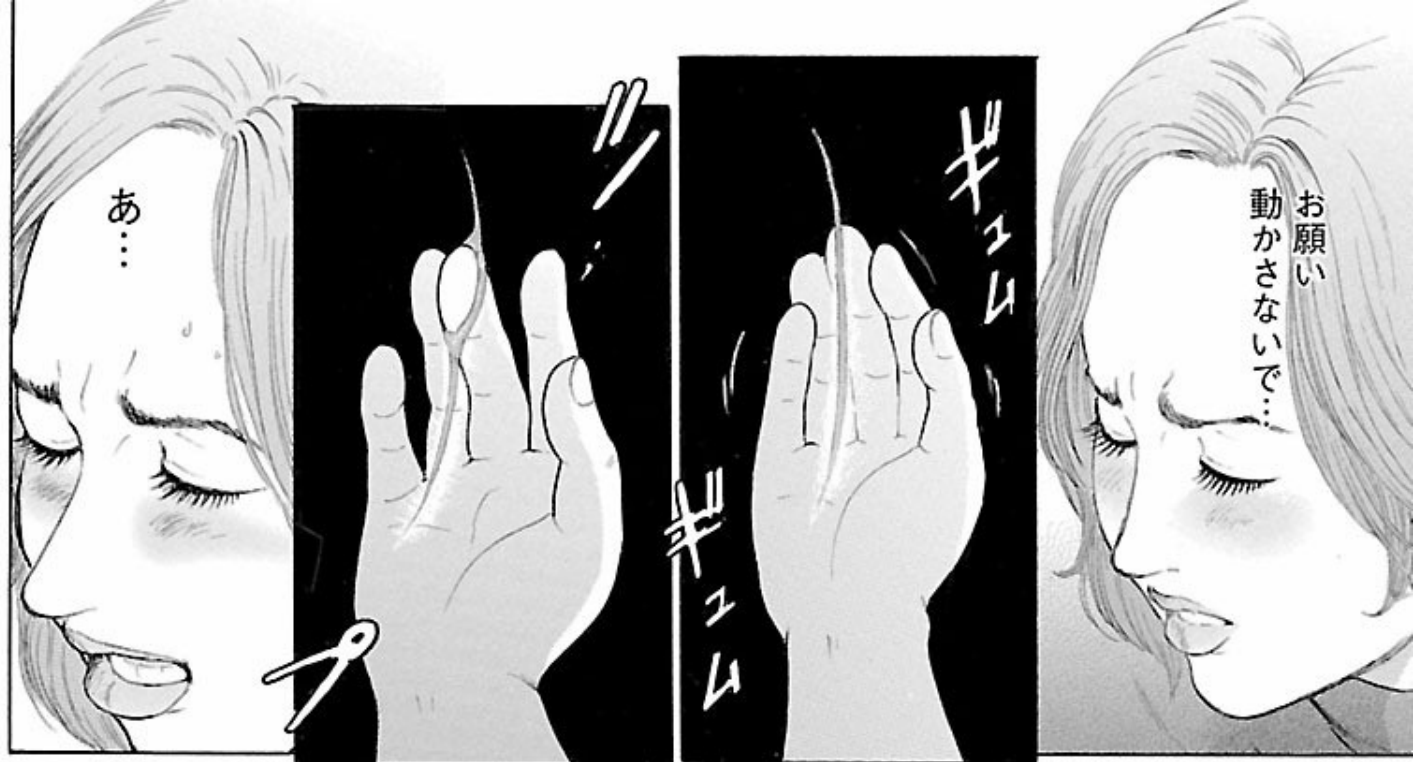
ンン…

クッ



そしてついに
その手が直に
人妻の
それに
触れた

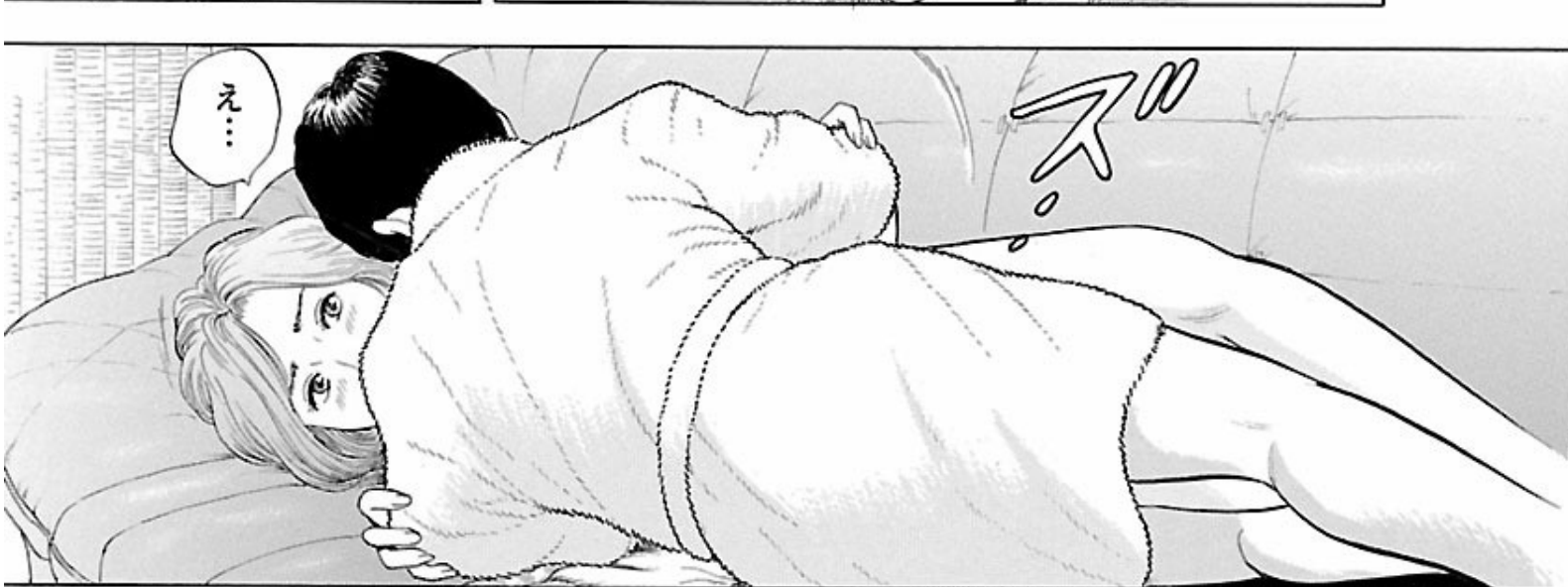
思わず
股間をすぼ
抵抗する

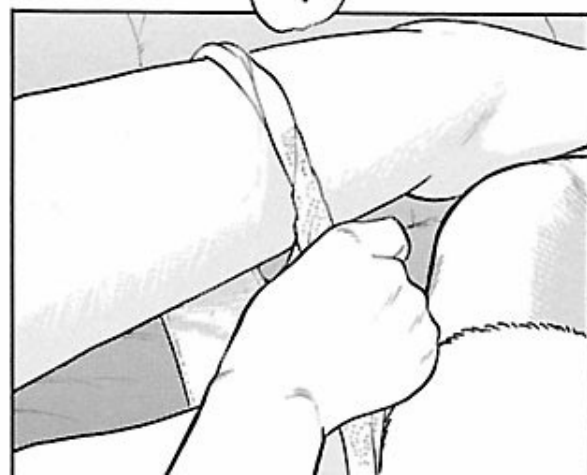




第6話 ソファーの海(後編)









意識を
首筋に集中
していると
手は下着へ…性器へ…
……

これを
2、3度
繰り返した
あと

イッ
アッ

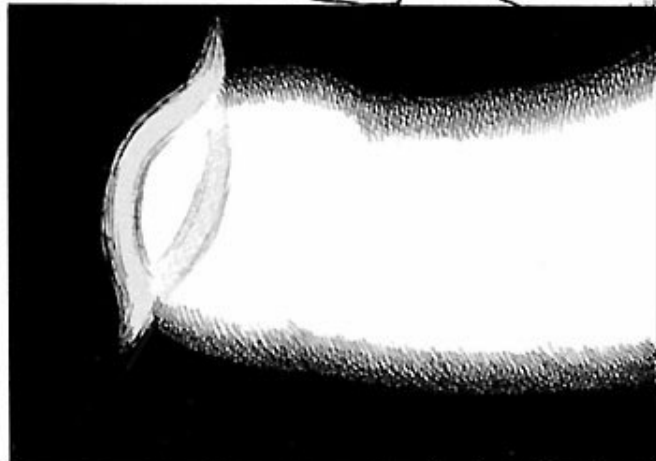
ついに
下半身は
あらわに
なった

そして



熱い 堅いモノが
とば口に触れた時

理性が
拒んだ

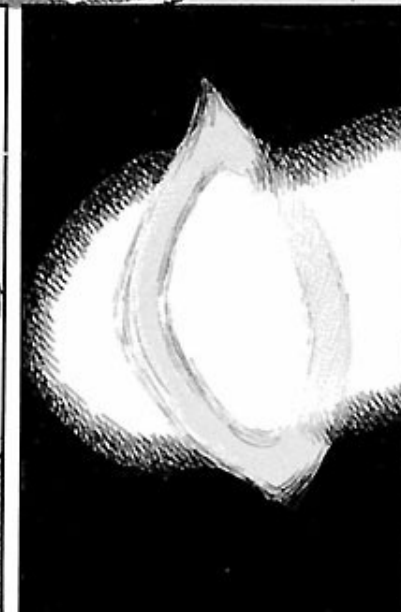


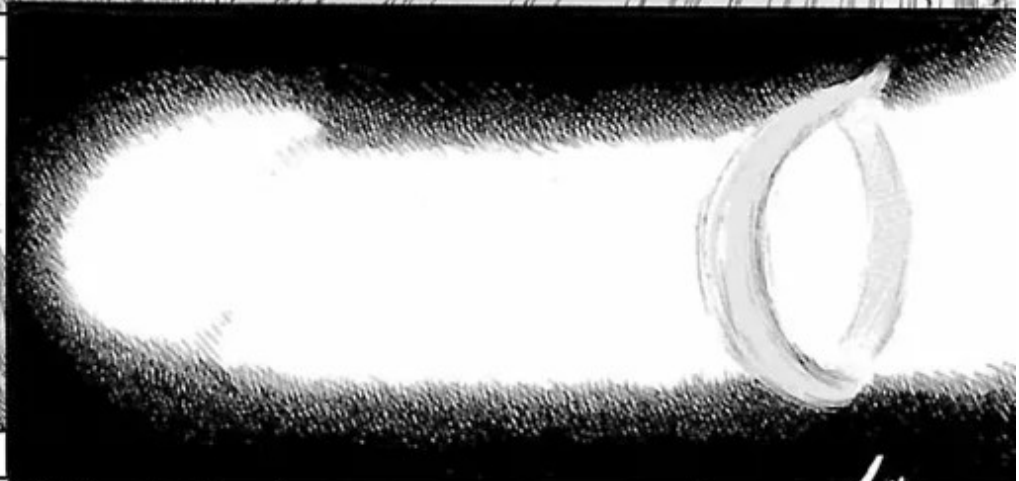
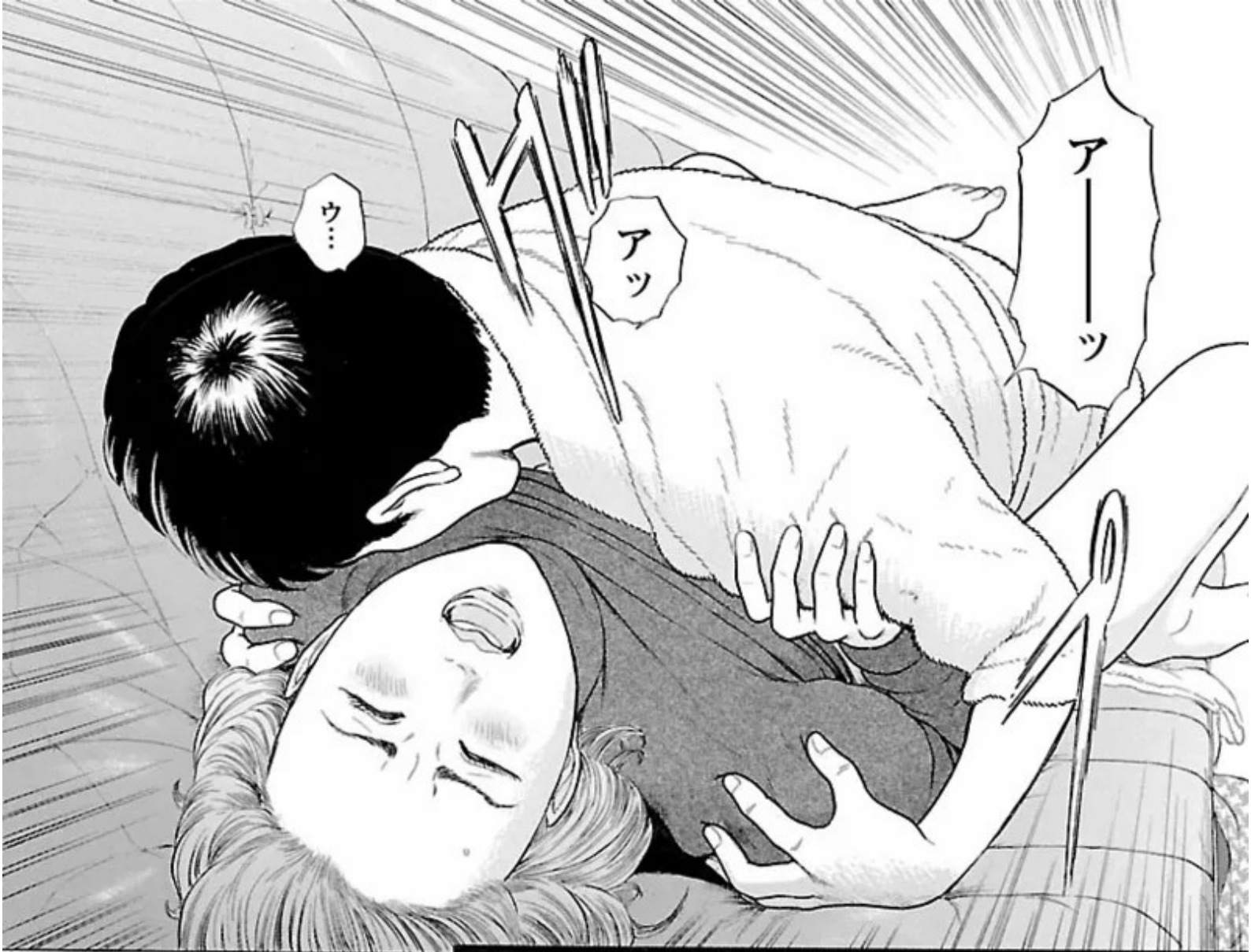
ヤッ

アッ

ダ…

ダメ…



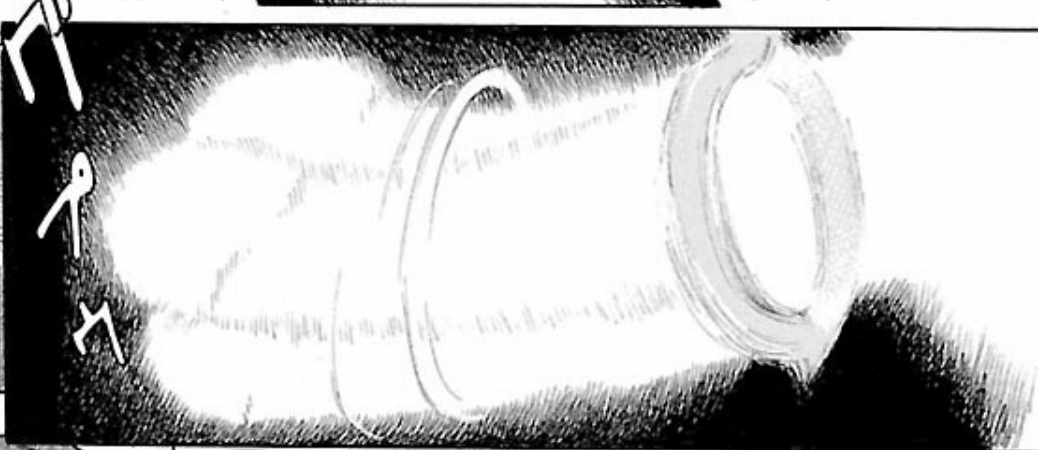


奥さん!!

頭の中が白く
なりそうな中

青年が
つぶやいたような
気がした

ジンとしたものが
電流のように
体中を走り抜ける



かき回す
青年のモノを
体の奥で
受け入れ
人妻は
声にならない
喘ぎを
上げていた



久しぶりの
男のモノだった

熱くたぎる
男のモノ…

アア

ハア

ハア…

ア…

ア…

アア

ア…

夫は
長期の
単身赴任中

もう1年と2ヵ月

夫婦生活も
それと同じくらい
ない

どこか他の女の
影が見える
夫とは…

いいよ別に
来なくて

いや…

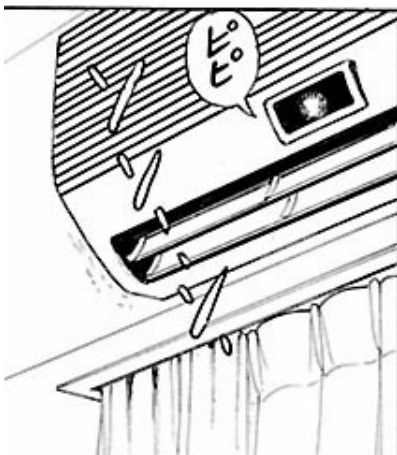
4ヵ月ほど前に
あったか



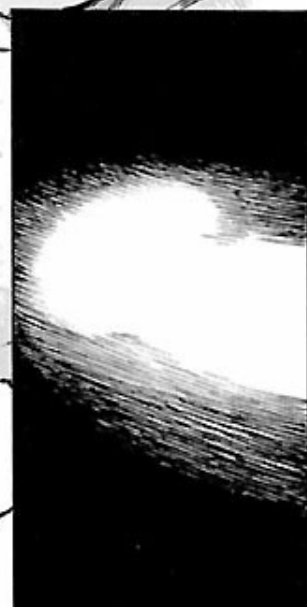
声を殺しての
落ち着かない中





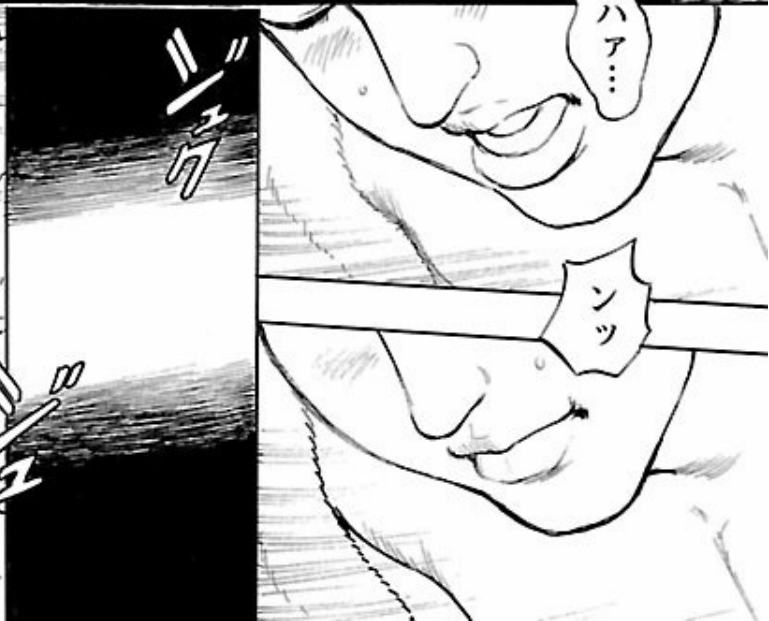


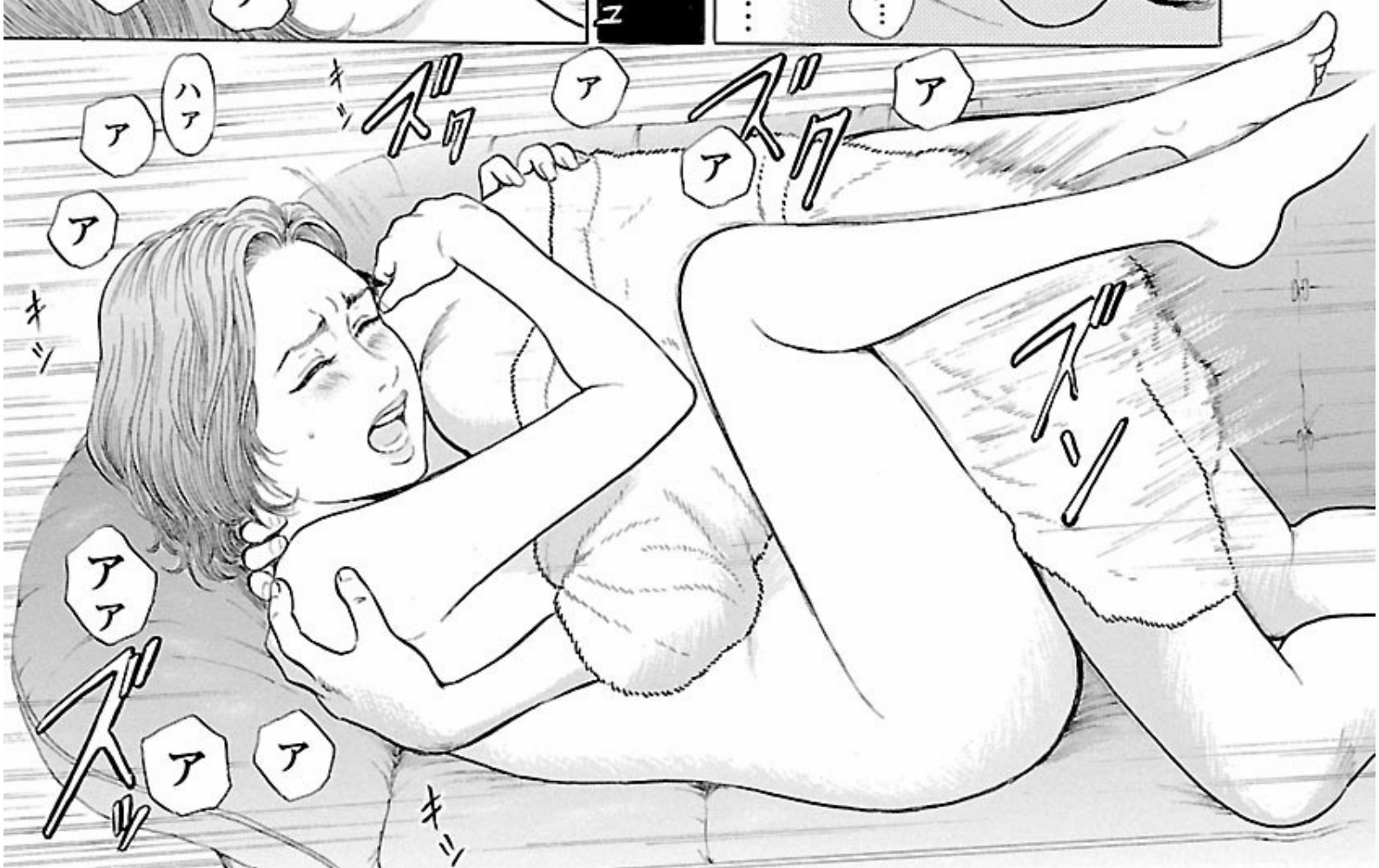






ずっとこうして
奥さんと…







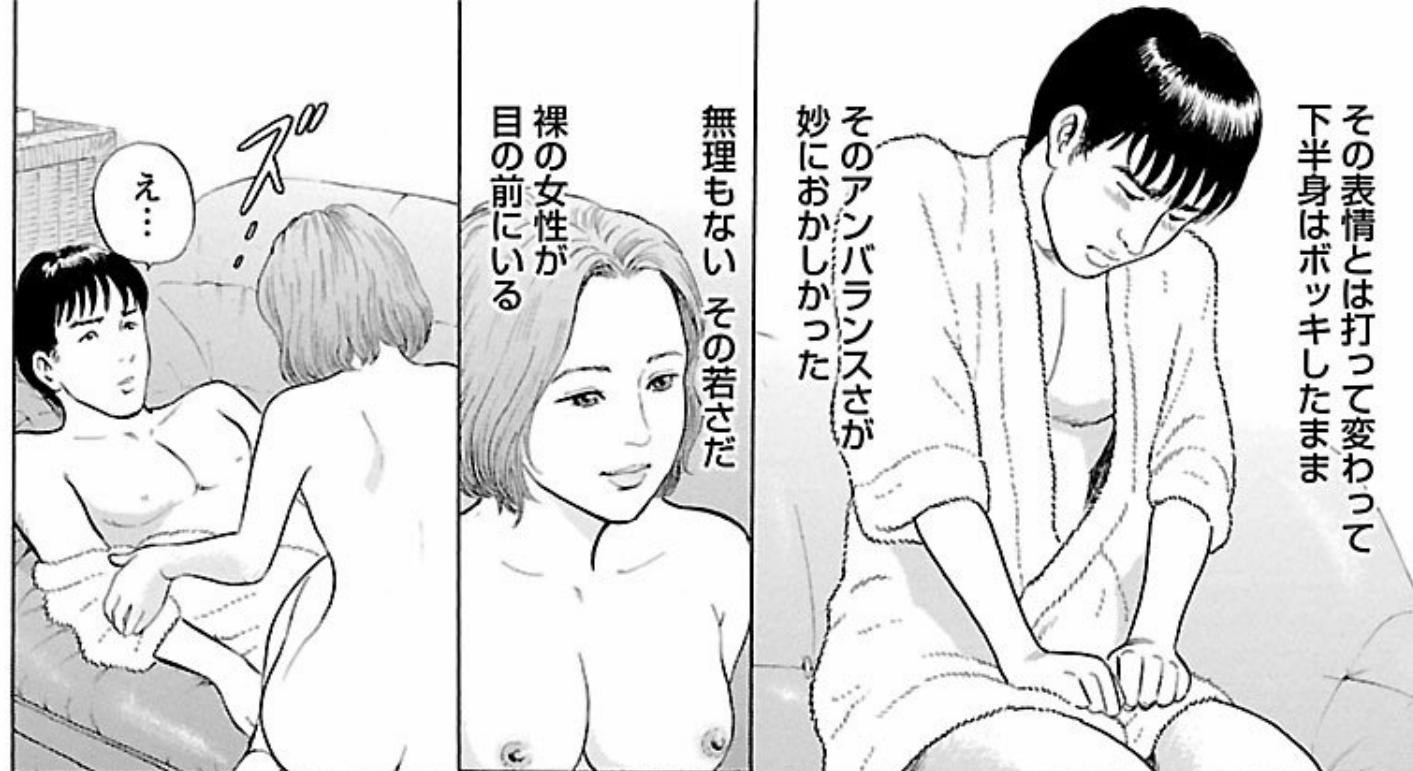


その表情とは打って変わって
下半身はボッキしたまま

そのアンバランスさが
妙におかしかった

無理もない その若さだ

裸の女性が
目の前にいる



この青年は罪の意識を感じている

心の傷になるかもしれない

救って
やらねば…

強引にされたのではない

和姦なのだ



そう
和姦

私からも望んで
したこと







あ
好き
カタチ

アア……ッ

アッ

アッ



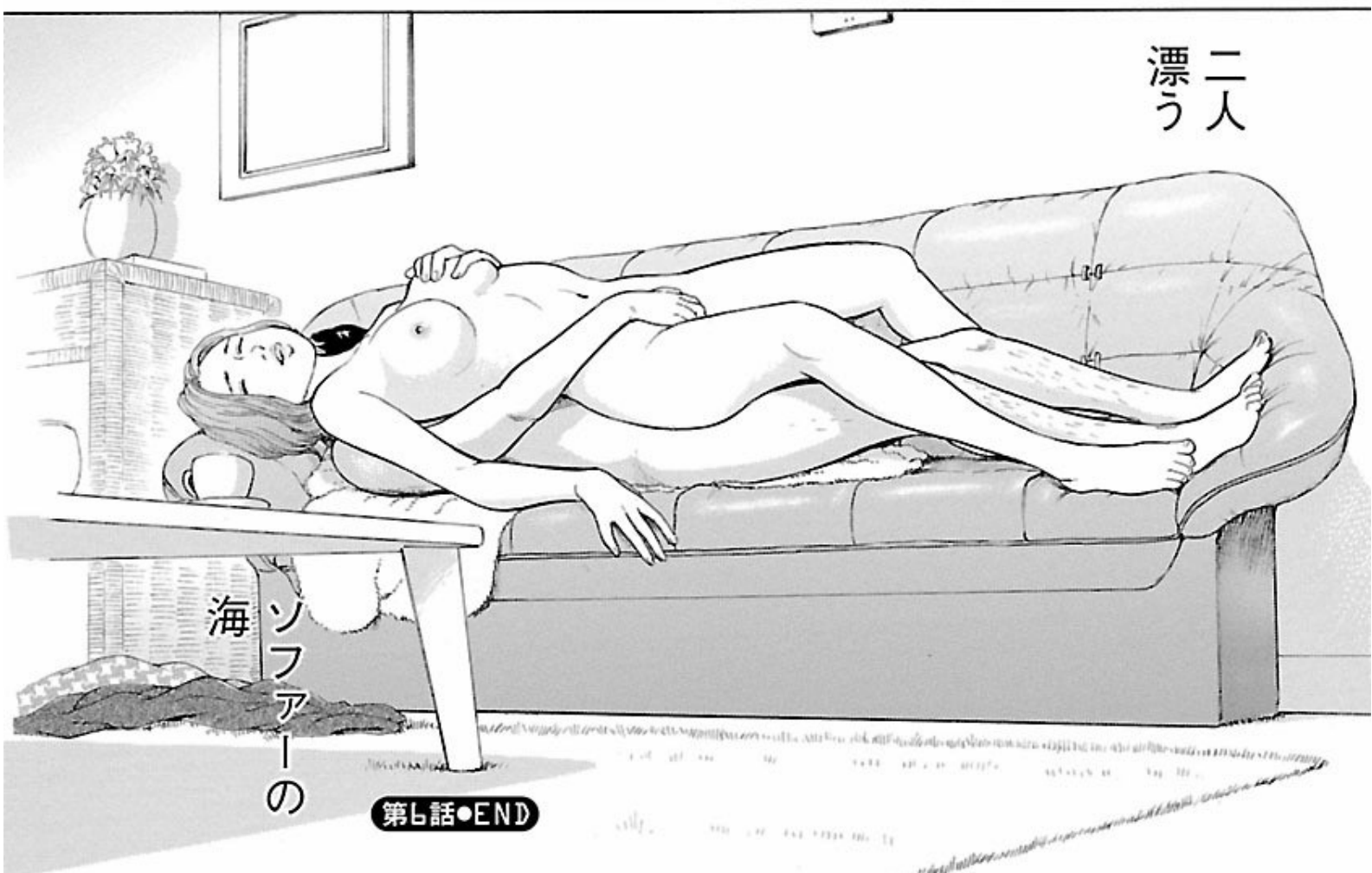
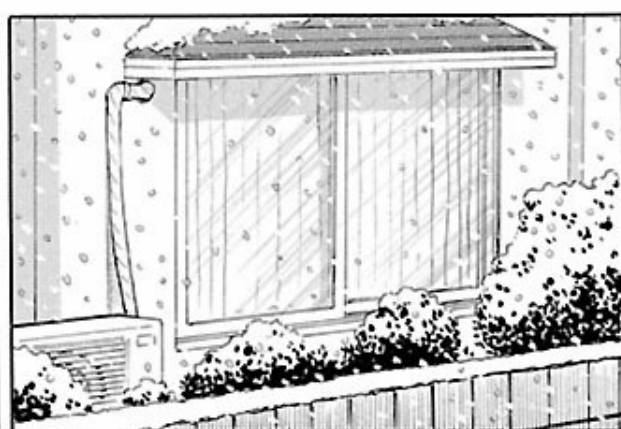
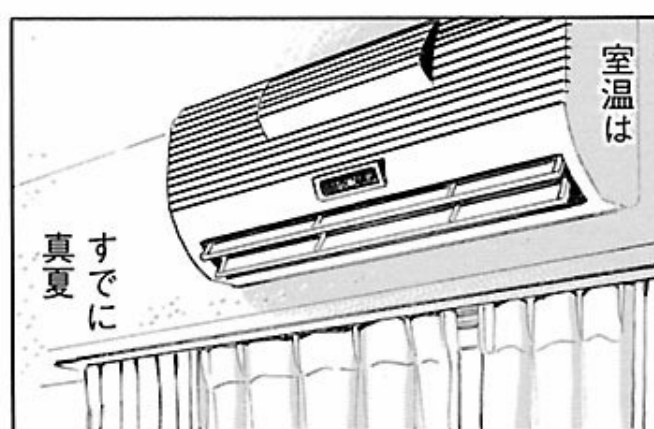
3
カ
月
前

奥さん
あなたを
見えました

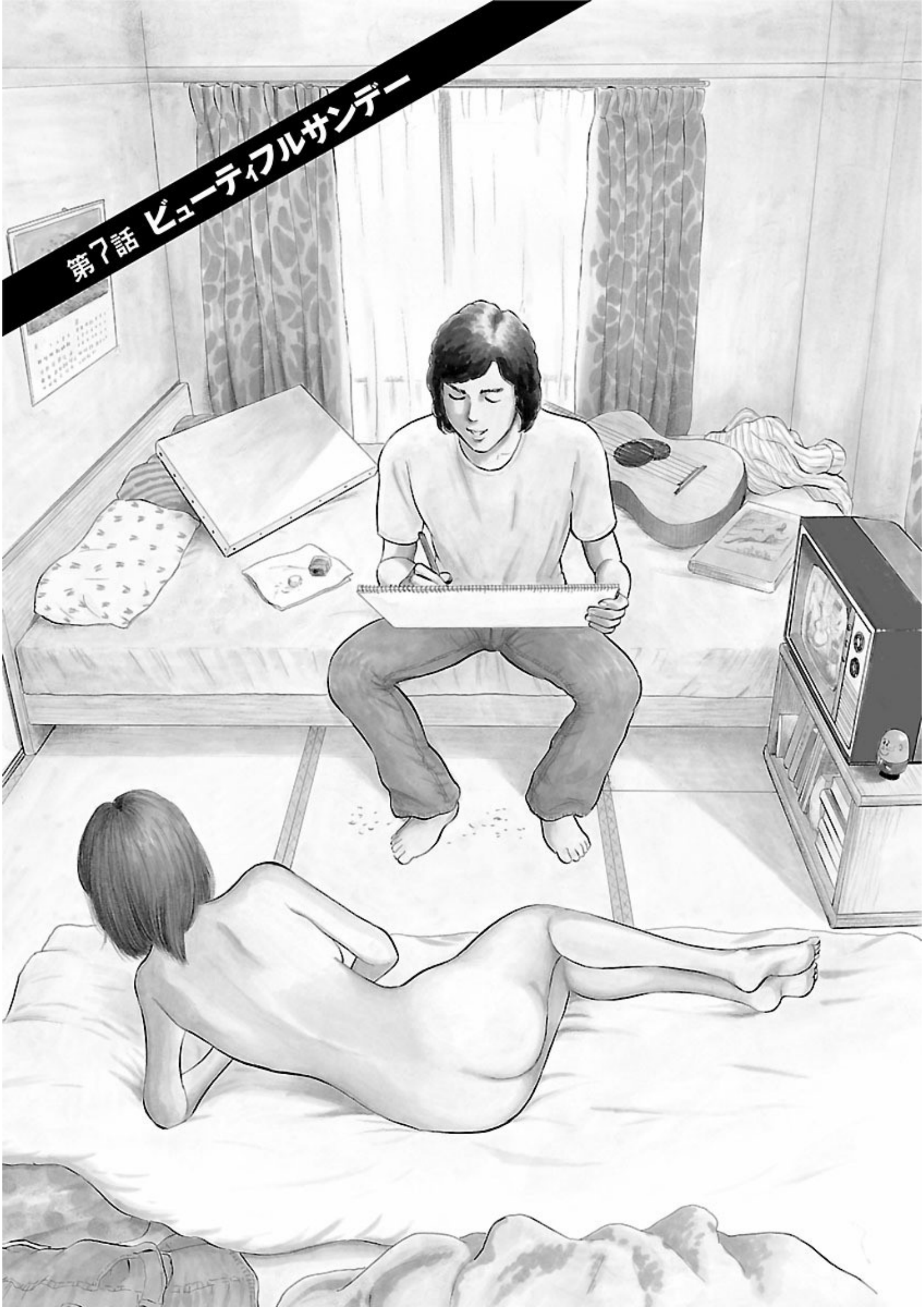


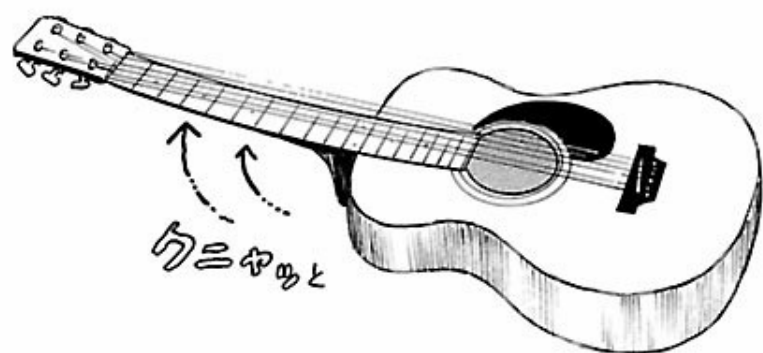






第7話 ビューティフルサンデー





放とくと
こんなっちゃういます

ポルノグラフィティ
Porno graffiti

昭和五十一年
とある日曜日



スター誕生!!
キラキラ

描くんだ

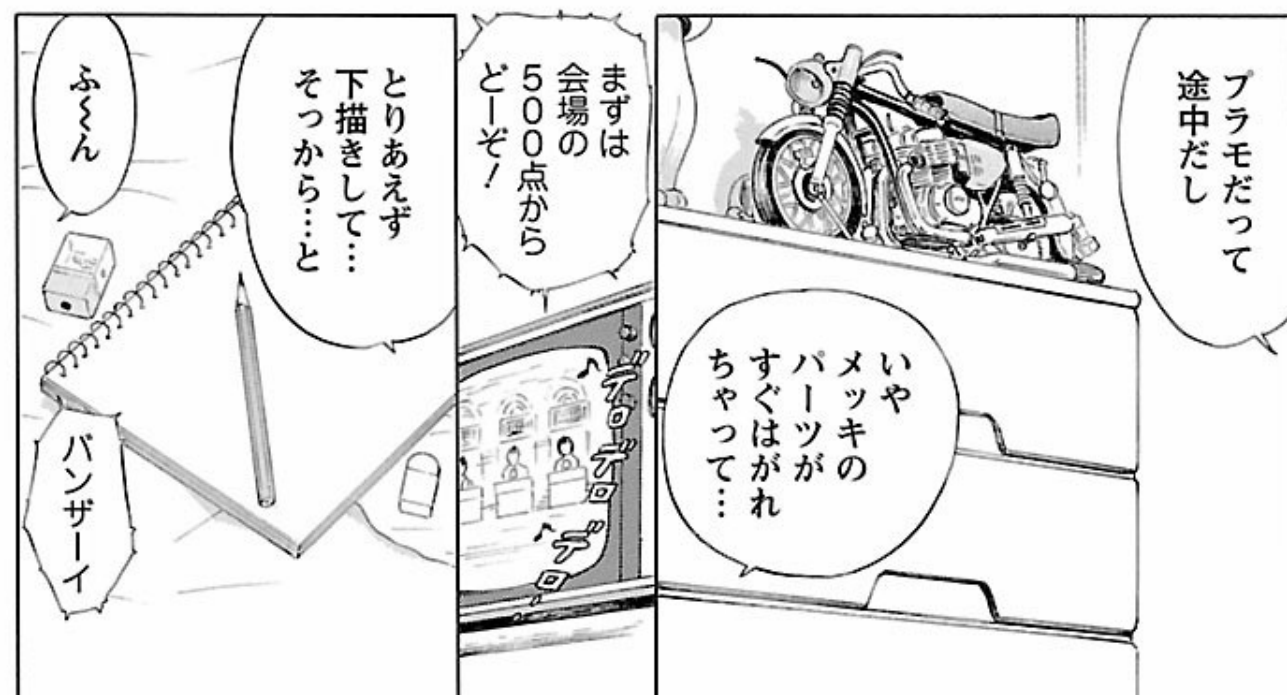
ホントに
ヌード!

油絵!

欽ちゃん
コーナー
おい
クロベ

言った
じゃん







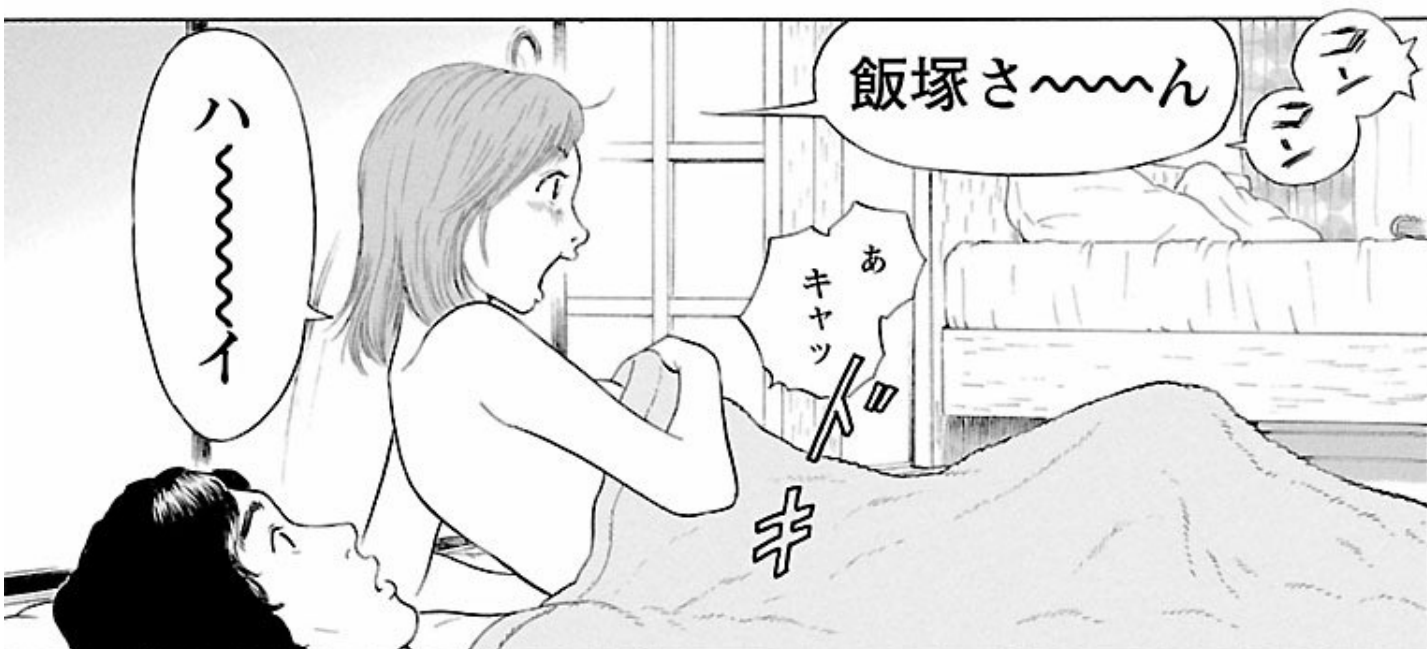




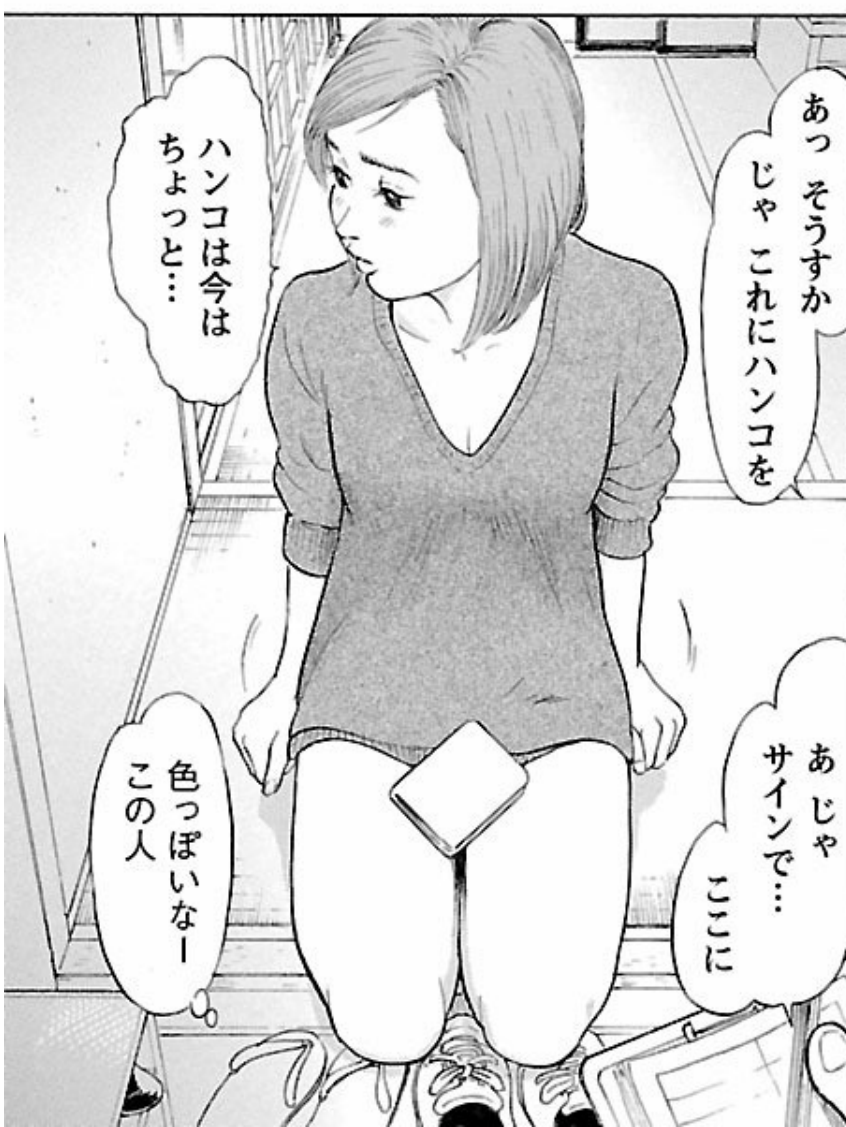


















最近コウちゃん
後ろからが
多くなった…

ハア

すごいな
明美の…

めくれ返って
きて…

ア…

超ウルトライントロ…

超ウルトラ・ドン!

ア…

NSP
「夕暮れ時は
さびしそう」

ハッ

ハア

ハッ

…ア…

超ウルトラ・ドン

バンバン
「いちご白書を
もう一度」

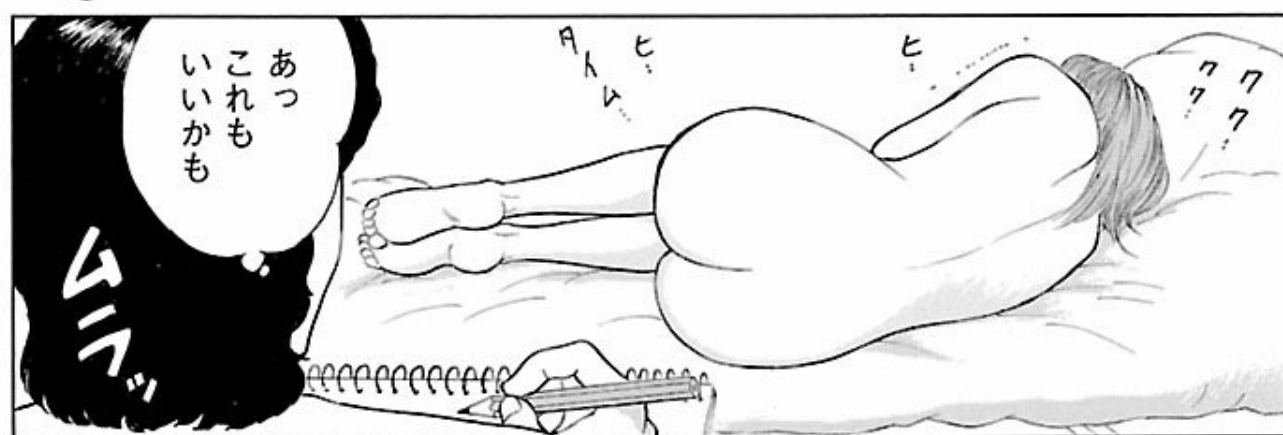
ア…

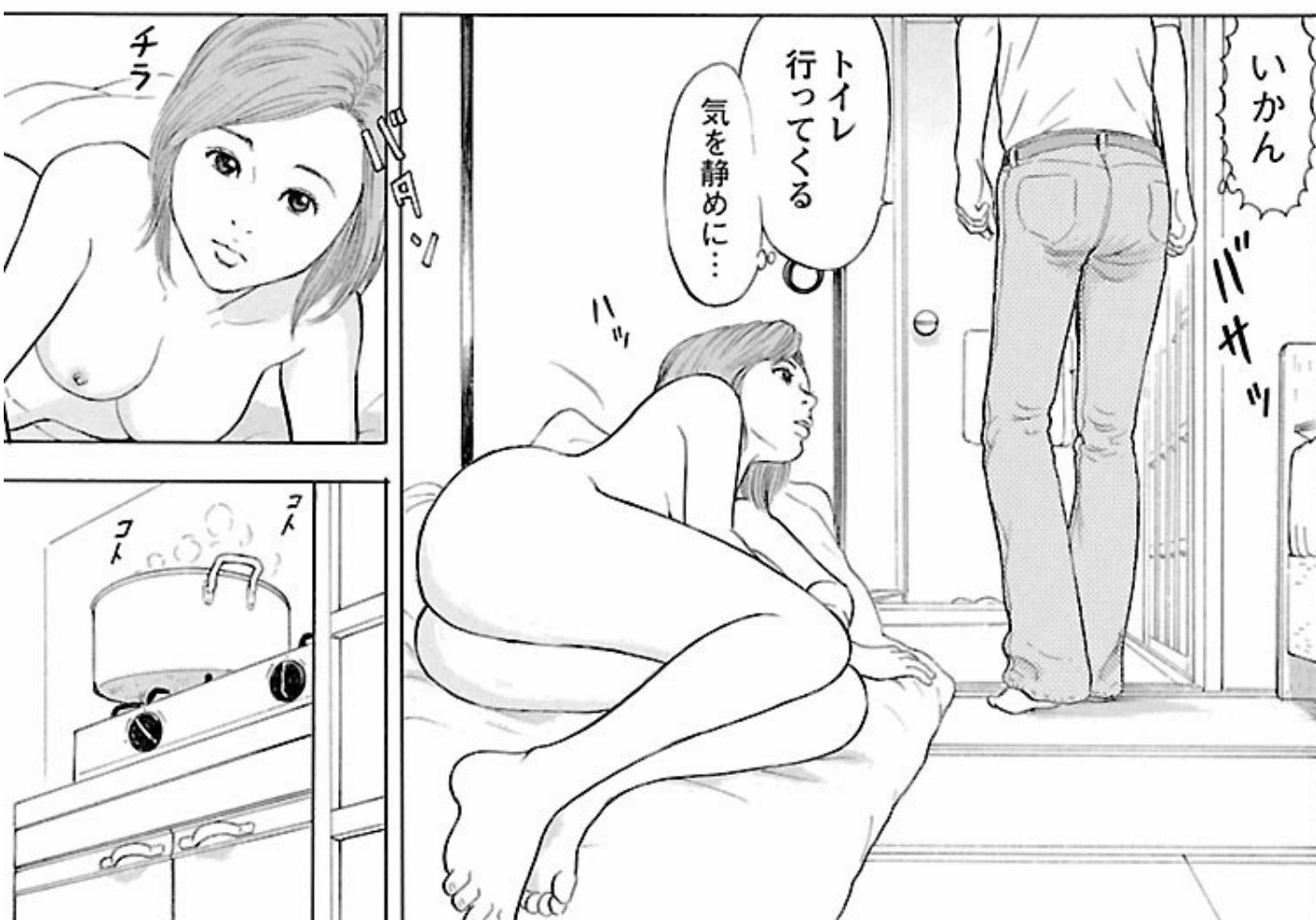
ア…

ア…



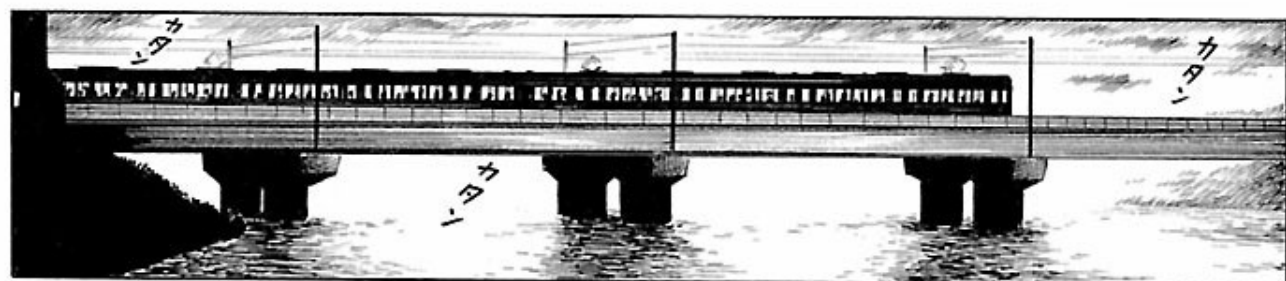




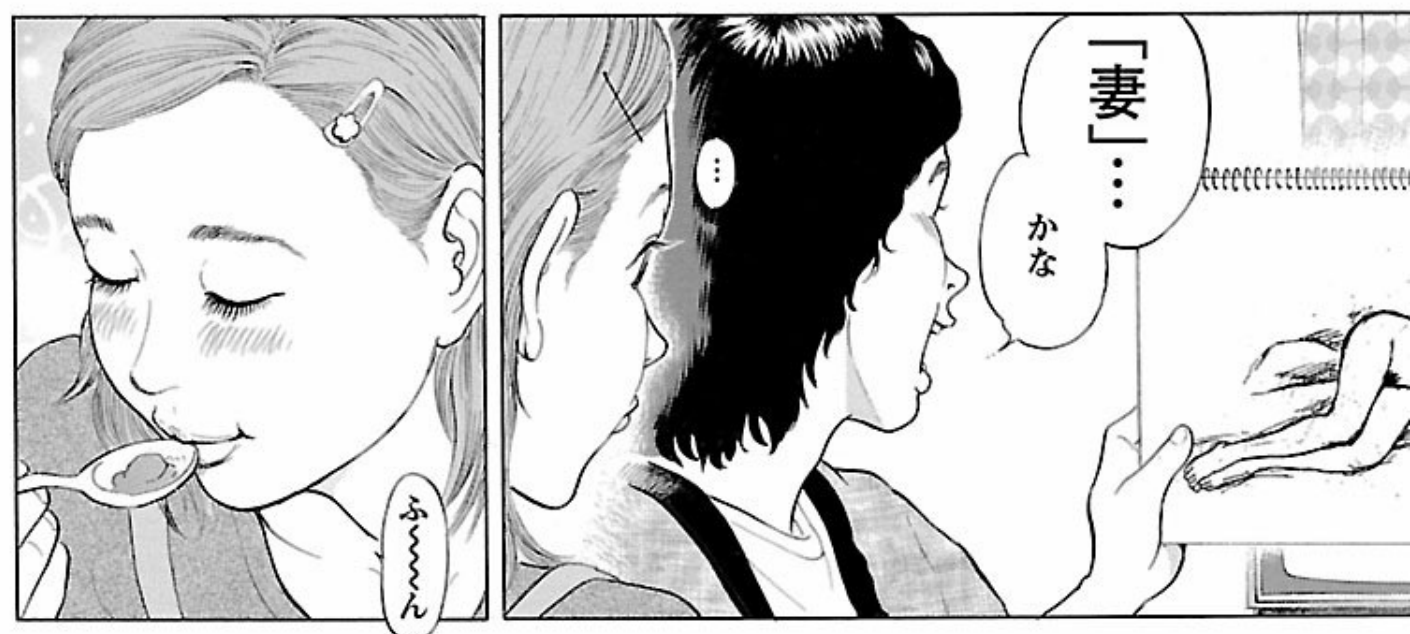












初出

第1話	漫画アクション	2007年7月17日号
第2話	漫画アクション	2007年9月18日号
第3話	漫画アクション	2007年11月20日号
第4話	漫画アクション	2008年1月8日号
第5話	漫画アクション	2008年2月19日号
第6話	漫画アクション	2008年3月4日号
第7話	漫画アクション	2008年4月15日号

ACTION COMICS

ポルノ・ グラフィティ

2008年7月28日 第1刷発行

1

著者 **とみさわ千夏**

発行者 **赤坂了生**

発行所 **株式会社双葉社**

〒162-8540東京都新宿区東五軒町3-28

TEL.03-5261-4851(編集) 03-5261-4818(営業)

装丁 **名和田耕平デザイン事務所**

印刷所 **三晃印刷株式会社**

<http://www.futabasha.co.jp/>

(双葉社の書籍・コミックが買えます)

©Chinatsu Tomisawa 2007 Printed in Japan.

ISBN978-4-575-83505-2 C9979

この作品はフィクションです。

実在する人物・団体などとはいっさい関係ありません。

デジタル版 2012 年発行

製作所 **デジタルカタパルト株式会社**

<http://www.digital-catapult.com>